

御前崎市国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月
御前崎市

-目次-

第1章 計画策定について	
1. 背景	3
2. 計画期間	3
3. 基本方針	4
4. データヘルス計画の位置づけ	5
5. 実施体制・関係者連携	5
第2章 現状と課題把握	
1. 保険者の特性把握	6
(1) 基本情報	6
(2) 医療費等の状況	8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	9
① 特定健康診査	9
② 特定保健指導	11
(4) 介護保険の状況	12
(5) 主たる死因の状況	14
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	15
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況	15
(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容	17
① 特定健康診査事業	17
② 特定保健指導事業	18
③ 糖尿病性腎症重症化予防事業	19
④ 健診異常値放置者受診勧奨事業	20
⑤ 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	21
⑥ ジェネリック医薬品差額通知事業	22
⑦ 重複服薬者適正化事業	23
3. 医療情報分析結果	24
(1) 基礎統計	24
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	24
① 高額レセプトの件数及び割合	24
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	25
(3) 疾病別医療費	27
① 大分類による疾病別医療費統計	27
② 中分類による疾病別医療費統計	29
4. 保健事業実施に係る分析結果	36
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	36
(2) 特定健康診査に係る分析	37
(3) 特定保健指導に係る分析	39
(4) 健診異常値放置者に係る分析	41
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析	43
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	45

-目次-

	(7) 受診行動適正化に係る分析	47
	(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	50
	5. 分析結果に基づく健康課題の把握	52
	(1) 分析結果	52
	(2) 分析結果に基づく課題とその対策	54
第3章 保健事業実施計画		
	1. 各事業の目的と概要一覧	55
	2. 全体スケジュール	57
	3. 各事業の実施内容と評価方法	58
	(1) 特定健康診査受診勧奨事業	58
	(2) 特定保健指導事業	59
	(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業	60
	(4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	61
	(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業	62
	(6) 受診行動適正化指導事業(重複受診、頻回受診、重複服薬)	63
	(7) ジェネリック医薬品差額通知事業	64
第4章 その他		
	1. データヘルス計画の見直し	65
	(1) 評価	65
	(2) 評価時期	65
	2. 計画の公表・周知	65
	3. 個人情報の取り扱い	66
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	66
地区分析		
	1. 大分類による疾病別医療費地区別統計	
	2. 中分類による疾病別医療費地区別統計	
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表	

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とする。

3. 基本方針

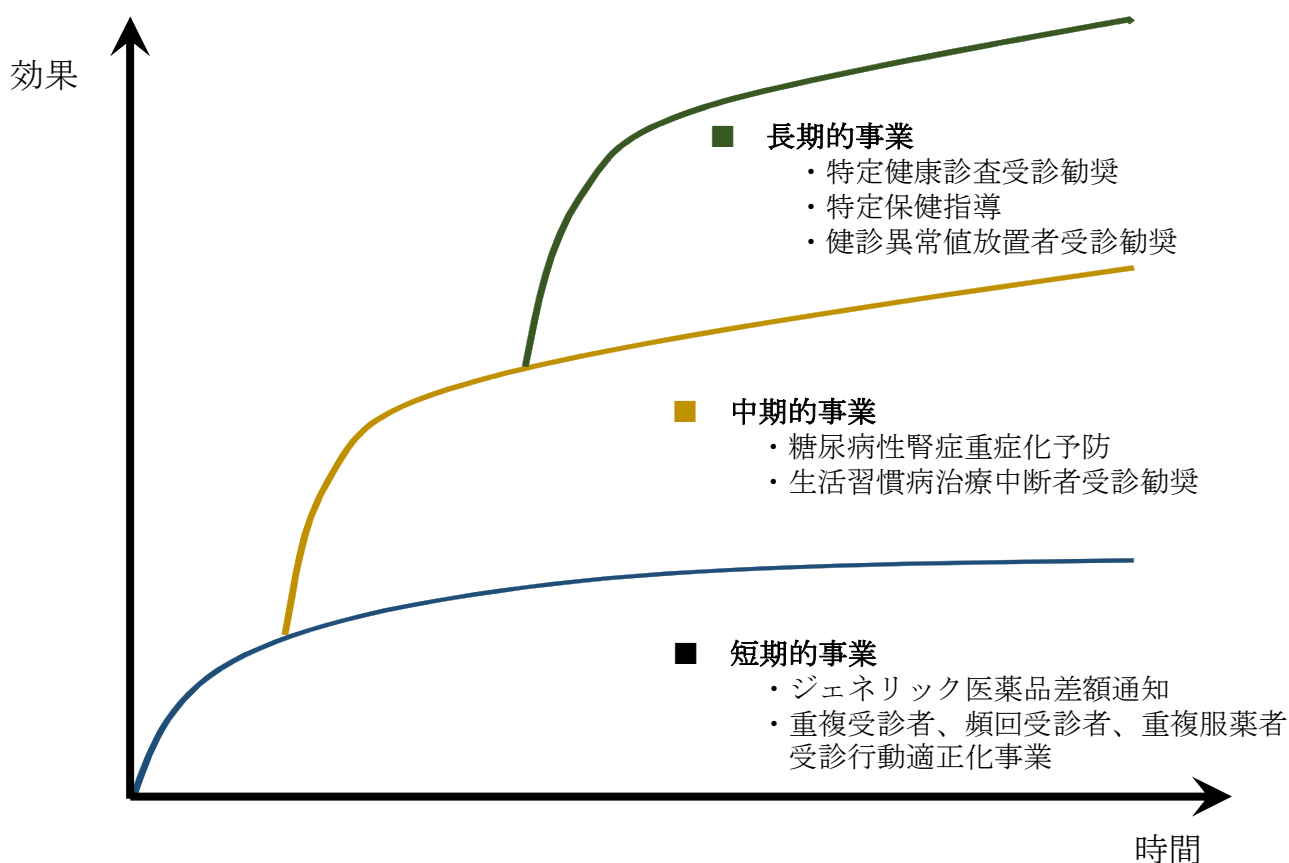
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生源となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を御前崎市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、県が策定した「ふじのくに健康増進計画」及び「御前崎市健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■データ分析期間及び方法

- ・国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・健康診査データ
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
- ・医療費分解技術(特許第4312757号)
レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ・傷病管理システム(特許第5203481号)
レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
- ・レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)
中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は27.8%であり、国民健康保険被保険者数は8,783人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は27.2%である。国民健康保険被保険者平均年齢は52.7歳である。

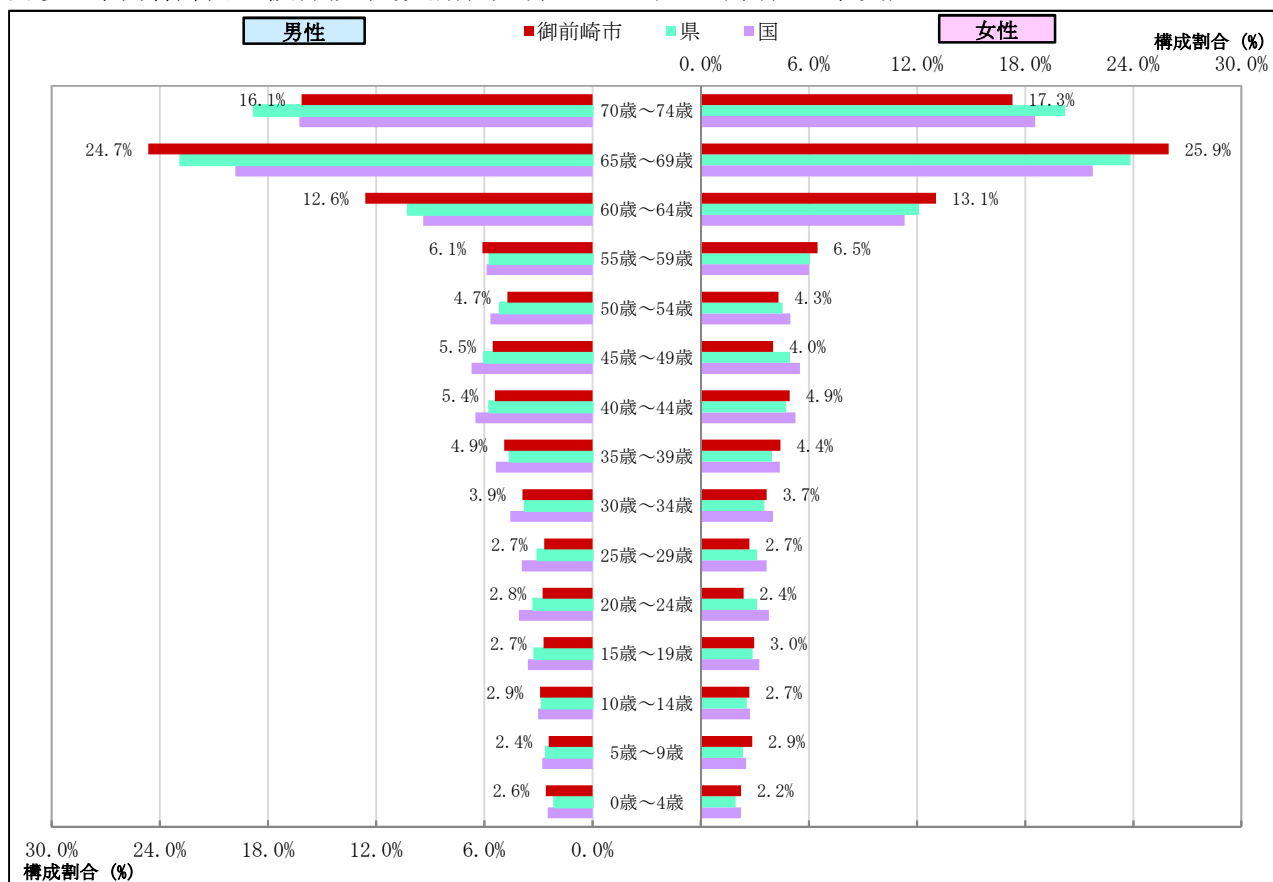
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
御前崎市	32,312	27.8%	8,783	27.2%	52.7	7.7%	11.1%
県	3,686,945	28.3%	944,646	25.6%	52.8	7.8%	10.6%
国	125,020,252	27.6%	32,587,223	26.1%	50.7	7.8%	10.5%

※「県」は静岡県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:平成28年度人口動態統計、平成28年度静岡県年齢別人口推計、国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

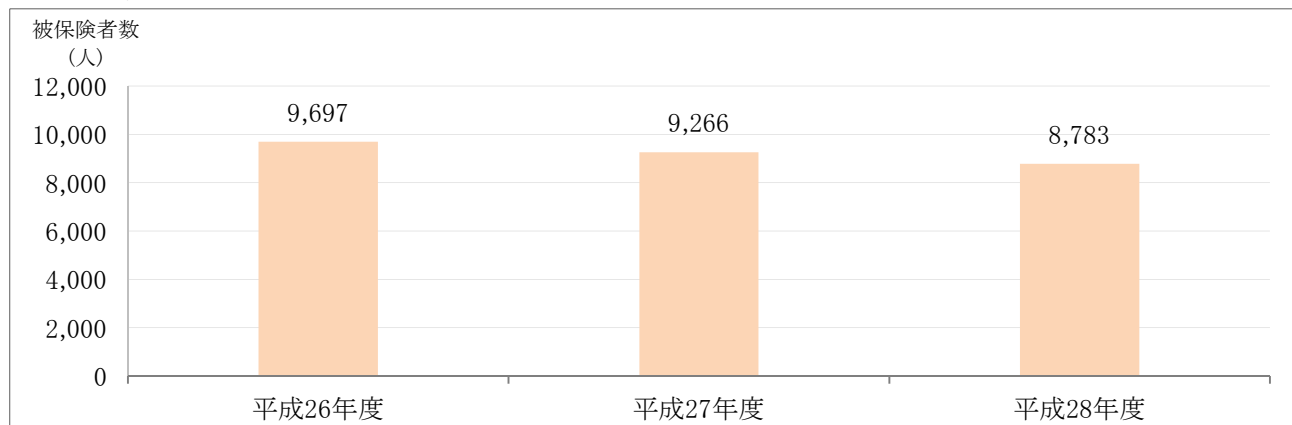
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数8,783人は平成26年度9,697人より914人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢52.7歳は平成26年度51.1歳より1.6歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
御前崎市	平成26 年度	32,835	26.1%	9,697	29.5%	51.1	8.5%	11.4%
	平成27 年度	32,578	26.9%	9,266	28.4%	52.0	7.4%	12.0%
	平成28 年度	32,312	27.8%	8,783	27.2%	52.7	7.7%	11.1%
県	平成26 年度	3,697,651	26.9%	1,033,922	28.0%	51.8	8.0%	10.5%
	平成27 年度	3,700,305	27.6%	993,274	26.8%	52.3	7.7%	10.7%
	平成28 年度	3,686,945	28.3%	944,646	25.6%	52.8	7.8%	10.6%
国	平成26 年度	125,431,000	26.2%	32,318,324	25.8%	50.3	8.0%	10.1%
	平成27 年度	125,319,299	26.9%	33,767,446	26.9%	50.4	8.0%	10.3%
	平成28 年度	125,020,252	27.6%	32,587,223	26.1%	50.7	7.8%	10.5%

出典: 静岡県統計年鑑 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 被保険者数



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	御前崎市	県	国
千人当たり			
病院数	0.1	0.2	0.3
診療所数	1.7	2.8	3.0
病床数	22.7	41.0	46.8
医師数	3.1	7.9	9.2
外来患者数	691.2	701.4	668.3
入院患者数	17.5	16.4	18.2
一件当たり医療費(円)	36,350	34,120	35,330
一般(円)	36,330	34,080	35,270
退職(円)	36,780	35,590	37,860
外来			
外来費用の割合	63.6%	63.5%	60.1%
一件当たり医療費(円)	23,700	22,190	21,820
一人当たり医療費(円)	16,380	15,560	14,580
一日当たり医療費(円)	16,090	14,400	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.6
入院			
入院費用の割合	36.4%	36.5%	39.9%
一件当たり医療費(円)	536,590	543,840	531,780
一人当たり医療費(円)	9,380	8,930	9,670
一日当たり医療費(円)	32,550	35,040	34,030
一件当たり在院日数	16.5	15.5	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

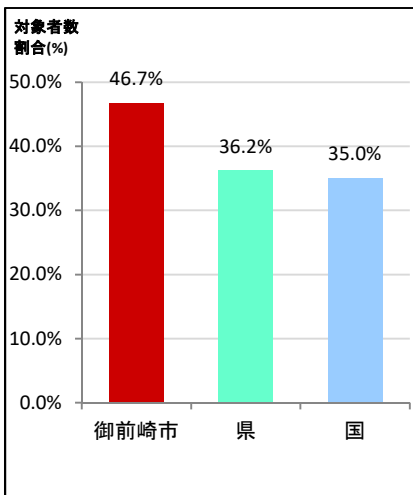
40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

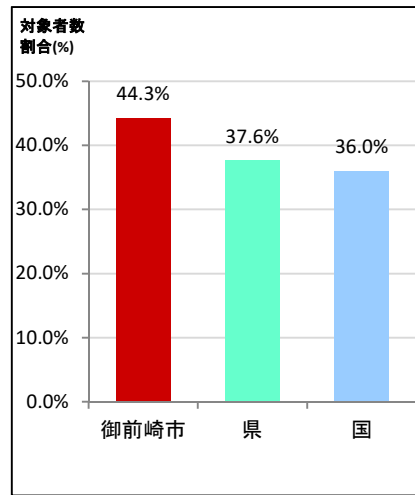
	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
御前崎市	46.7%	44.3%	44.9%
県	36.2%	37.6%	36.2%
国	35.0%	36.0%	34.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」 ※市受診率は法定報告値

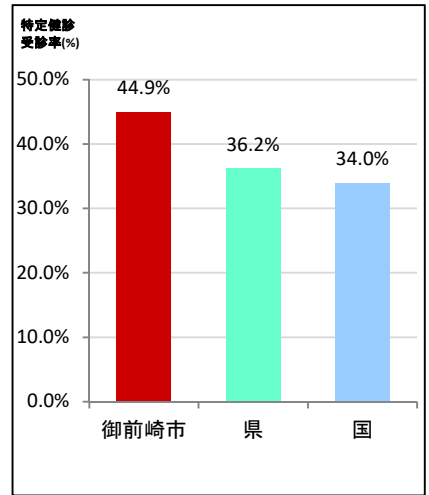
特定健康診査受診率(平成26年度)



特定健康診査受診率(平成27年度)

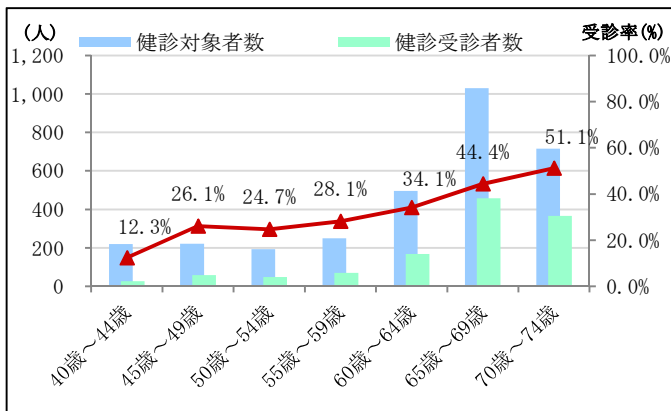


特定健康診査受診率(平成28年度)

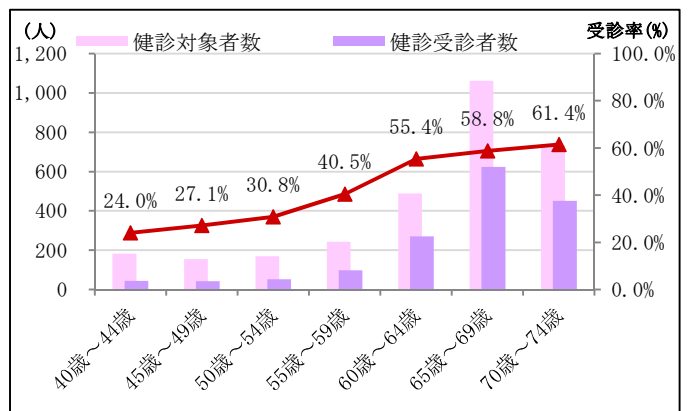


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」 ※市受診率は法定報告値

(男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



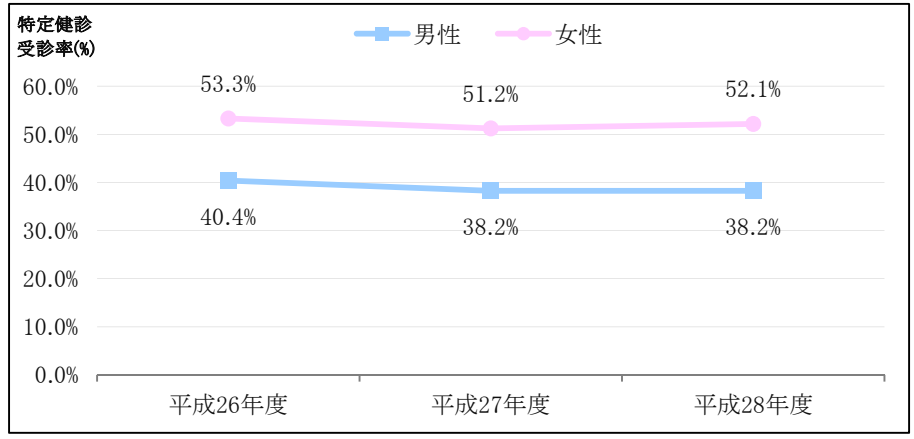
(女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率38.2%は平成26年度40.4%より2.2ポイント下降しており、女性の平成28年度受診率52.1%は平成26年度53.3%より1.2ポイント下降している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成28年度の特定保健指導実施率47.7%は平成26年度の43.0%から4.7ポイント上昇している。

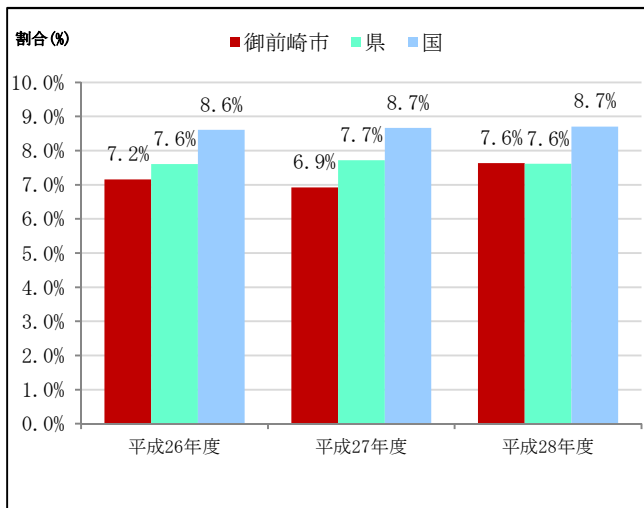
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
御前崎市	7.2%	6.9%	7.6%	3.2%	3.0%	2.7%	10.4%	9.9%	10.3%	43.0%	40.8%	47.7%
県	7.6%	7.7%	7.6%	2.6%	2.5%	2.4%	10.2%	10.2%	10.0%	23.8%	24.8%	28.5%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.2%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

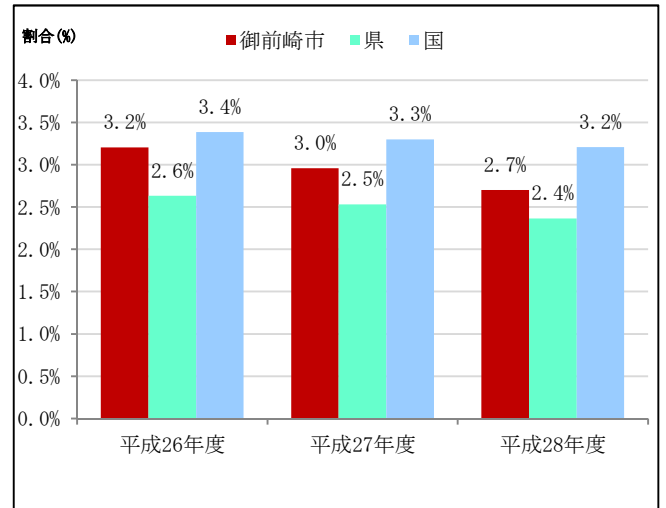
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合



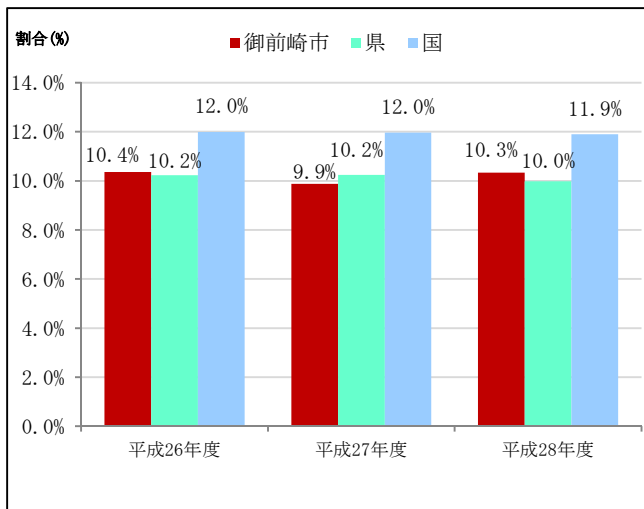
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合



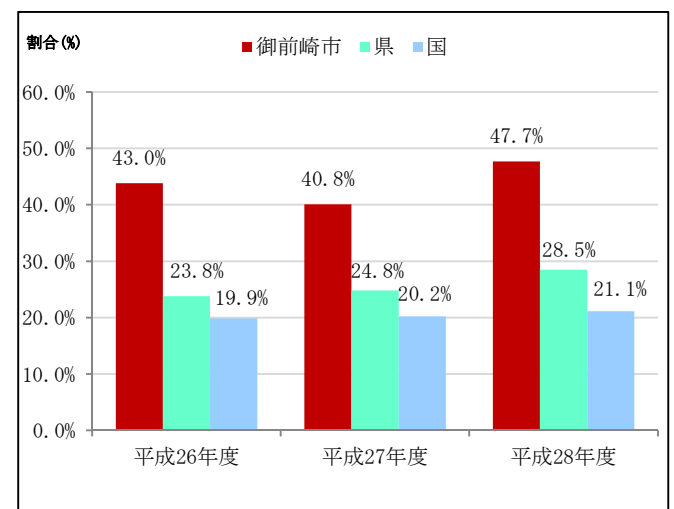
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

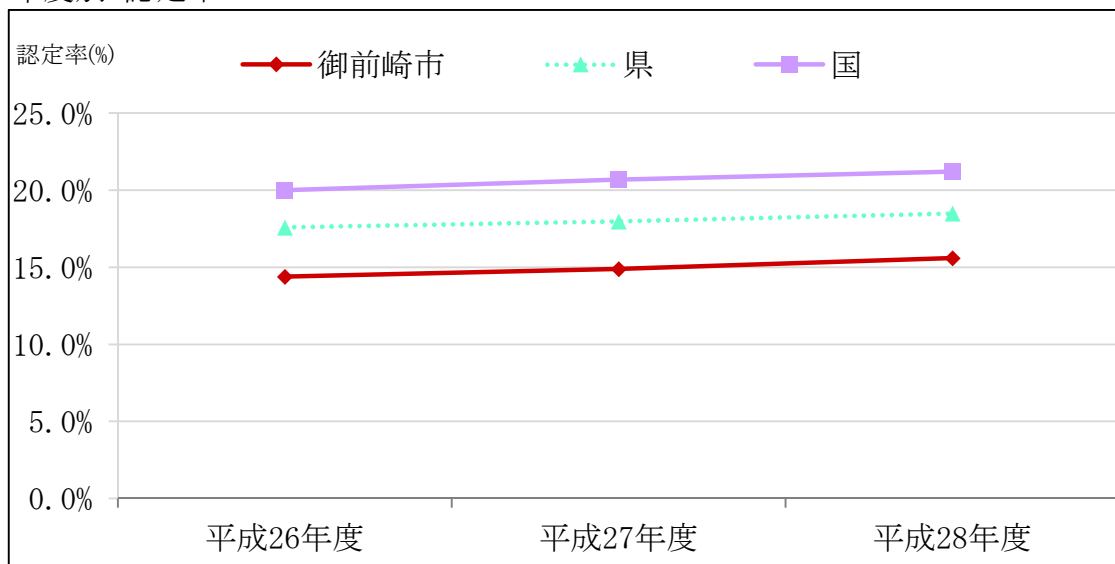
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率15.6%は平成26年度14.4%より1.2ポイント下降しており、平成28年度の認定者数1,234人は平成26年度1,139人より95人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			認定者数	第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
御前崎市	平成26年度	14.4%	1,139	1,112	27
	平成27年度	14.9%	1,220	1,190	30
	平成28年度	15.6%	1,234	1,204	30
県	平成26年度	17.6%	162,189	157,466	4,723
	平成27年度	18.0%	166,995	162,375	4,620
	平成28年度	18.5%	170,710	166,112	4,598
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.7疾病は平成26年度2.9疾病より減少している。

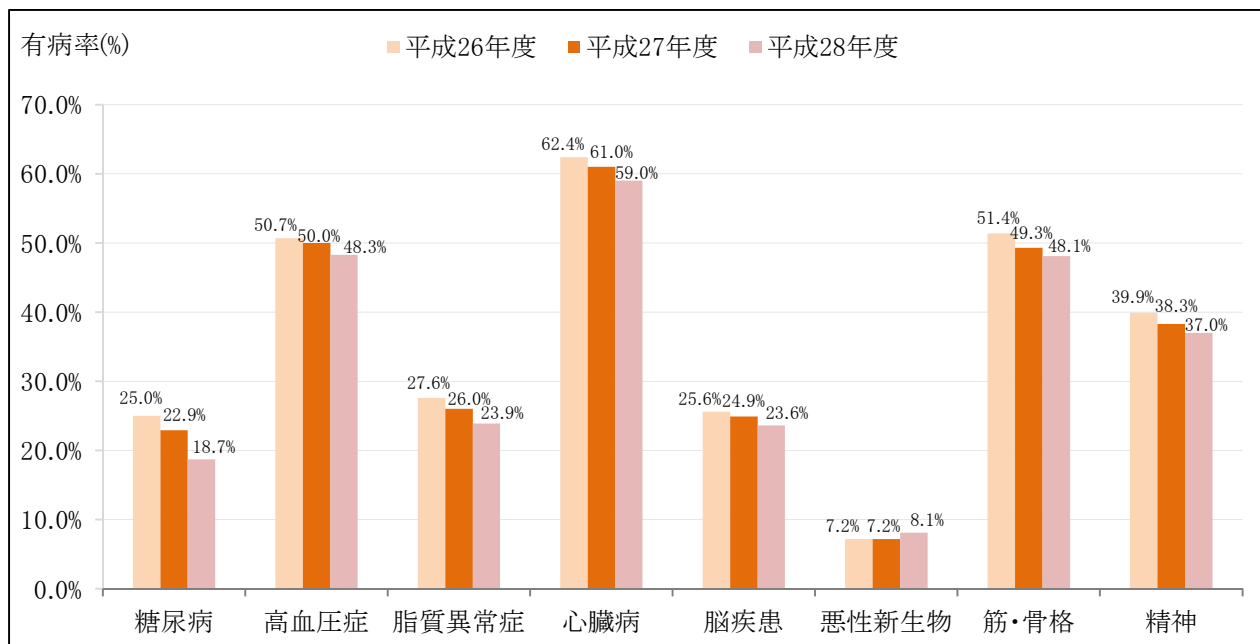
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	御前崎市						県			同規模			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	1,139		1,220		1,234		162,189	166,995	170,710	523,363	529,235	550,688	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	278	7	237	7	234	7	36,811	38,826	39,958	113,710	118,155	125,517	1,089,285	1,241,024	1,343,240
	有病率(%)	25.0%		22.9%		18.7%		22.3%	22.8%	23.0%	21.2%	21.8%	22.3%	20.3%	21.4%	21.9%
高血圧症	実人数(人)	585	2	602	2	602	3	86,565	90,690	92,568	282,596	289,746	305,818	2,551,660	2,865,466	3,085,109
	有病率(%)	50.7%		50.0%		48.3%		52.7%	53.4%	53.4%	53.0%	53.9%	54.6%	47.9%	49.7%	50.5%
脂質異常症	実人数(人)	318	5	300	5	299	6	46,502	49,375	51,512	142,881	149,286	159,712	1,386,541	1,586,963	1,733,323
	有病率(%)	27.6%		26.0%		23.9%		28.1%	28.9%	29.4%	26.5%	27.5%	28.3%	25.7%	27.3%	28.2%
心臓病	実人数(人)	711	1	732	1	745	1	98,573	102,945	105,182	323,192	330,980	349,121	2,914,608	3,261,576	3,511,354
	有病率(%)	62.4%		61.0%		59.0%		60.1%	60.7%	60.7%	60.7%	61.6%	62.4%	54.8%	56.7%	57.5%
脳疾患	実人数(人)	296	6	297	6	302	5	44,708	45,703	46,010	149,715	150,762	154,757	1,324,669	1,455,985	1,530,506
	有病率(%)	25.6%		24.9%		23.6%		27.2%	27.2%	26.7%	28.4%	28.2%	27.9%	25.2%	25.4%	25.3%
悪性新生物	実人数(人)	86	8	95	8	101	8	14,845	15,801	16,455	51,472	54,149	58,389	493,808	569,967	629,053
	有病率(%)	7.2%		7.2%		8.1%		9.0%	9.2%	9.4%	9.6%	9.9%	10.3%	9.2%	9.8%	10.1%
筋・骨格	実人数(人)	583	3	570	3	620	2	82,177	86,473	89,253	276,932	285,059	303,080	2,505,146	2,813,795	3,051,816
	有病率(%)	51.4%		49.3%		48.1%		50.0%	50.9%	51.5%	51.9%	53.0%	54.0%	47.1%	48.9%	49.9%
精神	実人数(人)	450	4	460	4	478	4	56,360	59,654	62,018	191,588	199,244	213,249	1,720,172	1,963,213	2,141,880
	有病率(%)	39.9%		38.3%		37.0%		34.3%	35.1%	35.6%	35.7%	36.8%	37.8%	32.2%	33.8%	34.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

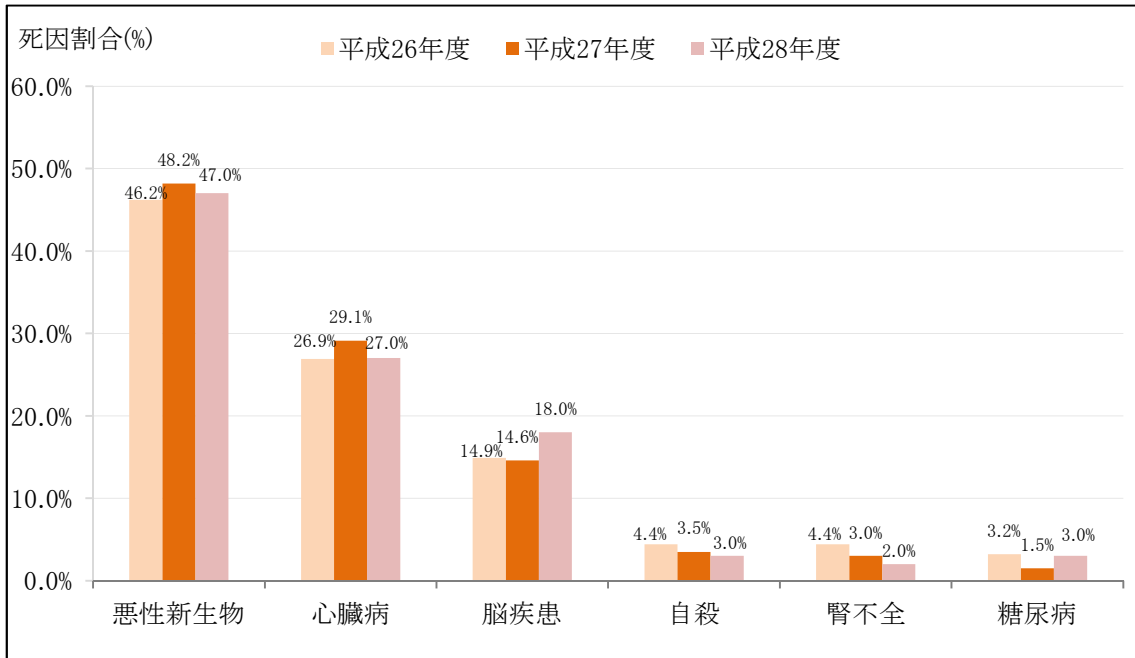
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数94人は平成26年度115人より21人減少しており、心臓病を死因とする人数54人は平成26年度67人より13人減少している。また、脳疾患を死因とする人数36人は平成26年度37人より1人減少している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	御前崎市						県			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度						
悪性新生物	115	96	94	46.2%	48.2%	47.0%	46.1%	47.4%	47.8%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	67	58	54	26.9%	29.1%	27.0%	25.6%	25.0%	24.9%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	37	29	36	14.9%	14.6%	18.0%	19.1%	18.4%	18.4%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	11	7	6	4.4%	3.5%	3.0%	3.4%	3.4%	3.1%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	11	6	4	4.4%	3.0%	2.0%	3.6%	3.5%	3.7%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	8	3	6	3.2%	1.5%	3.0%	2.3%	2.2%	2.2%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	249	199	200									

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。全7事業のうち、目標達成している事業は2事業である。実施体制について糖尿病性腎症重症化予防事業やジェネリック医薬品差額通知事業が事業推進に当たっての好材料となったが、受診勧奨事業の面では今後検証が必要である。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27年度から平成29年度	特定健康診査事業	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防	40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。
平成27年度から平成29年度	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。
平成27年度から平成29年度	糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	糖尿病性腎症重症化の状況を医師会と共有し検討する機会を設定する。 糖尿病性腎症の早期発見のため特定健康診査のHbA1c高値者に尿中アルブミンの測定を実施し、対象者を選定。早期受診を促すとともに医療機関と連携して保健指導を実施。
平成29年度	健診異常値放置者受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
平成29年度	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
平成27年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、通知を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
平成29年度	重複服薬者適正化事業	重複服薬者数の減少	レセプトデータから、重複して服薬している対象者を抽出し、通知を送付することで適正化を図る。かかりつけ手帳やお薬手帳の利用を推進する。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況(平成28年時点)	評価
対象者に勧奨通知を送付、特定健康診査の受診状況を確認した。 ・平成28年度、29年度、過去3年未受診の人に勧奨通知を送付 ・当年度の未受診者に毎年勧奨はがきを送付。	受診率 60%	受診率 44.9%	3
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査データより検査値の推移、生活習慣のアンケートから生活習慣の改善を確認した。	指導対象者の指導実施率5%向上	指導実施率4.7%向上	4
	指導対象者の生活習慣改善率50%	生活習慣改善率58.7%	5
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査データより検査値の推移、生活習慣のアンケートから生活習慣の改善を確認した。定期的な通院の有無等を確認した。	指導対象者の指導実施率80%	実施率 90%	5
	指導完了者の生活習慣改善率50%	生活習慣病改善率53.4%	5
	指導完了者の検査値改善率50%	改善率 66.7%	5
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送した。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行った。	対象者への通知率100%	通知率100%	5
	対象者の医療機関受診率20%	—	—
生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送した。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行った。	対象者への通知率100%	通知率 100%	5
	対象者の医療機関受診率20%	—	—
平成27年度は年1回、平成28年度からは年2回差額通知書を郵送した。対象者の特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討した。	対象者への通知率100%	通知率 100%	5
	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 通知開始時平均より5%向上	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 通知開始時平均より15.5%向上	5
レセプトデータから重複服用者を特定し、通知を送付した。	通知率100%	通知率 100%	5

(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は以下の通りである。

① 特定健康診査事業

【実施年度】 平成27年度から平成29年度

【事業目的】 メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防

【事業概要】 40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。

【実施内容】 対象者に受診券を発送、その後特定健康診査の受診状況を確認した。

- ・平成28年度、29年度は、過去3年間未受診及び当年度の未受診者に、勧奨通知を送付。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率(%)	55.0%	58.0%	60.0%

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率(%)	44.3%	44.9%	—

【考察】 平成28年度の受診率は44.9%であり、平成27年度の44.3%から0.6%増加している。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

②特定保健指導事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。

【実施内容】指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査データより検査値の推移、生活習慣のアンケートから生活習慣の改善を確認した。

【目標値】平成29年度末を達成目標とし、アウトプット・アウトカムを下記のように設定した。

アウトプット	アウトカム
指導対象者の指導実施率 5%向上	積極的支援及び動機付け支援対象者数 10%減少
指導完了者の生活習慣改善率 50%	
指導完了者の検査値改善率 50%	

※特定保健指導を実施することにより、指導前と指導後で生活習慣が改善された人数

【達成状況】平成28年度時点

指導対象者の指導実施率	実施率 4.7%向上
指導完了者の生活習慣改善率	改善率 58.7%
指導完了者の検査値改善率	改善率 66.7%
積極的支援及び動機付け支援対象者割合	10.4%減少

【考察】面接日の事前確認の電話や訪問による保健指導を行い、実施率が4.7%向上したが、目標達成には至らなかった。
対象者の中には、前年度にも対象となった人も含まれるため、通知等の工夫も必要ではないかと思われる。
生活習慣改善率・検査値の改善率については、58.7%・66.7%と目標達成できた。今後は、更なる指導の内容の改善を行い、改善率を上げられるよう努めていきたい。

③糖尿病性腎症重症化予防事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【事業概要】糖尿病性腎症重症化の状況を医師会と共有し検討する機会を設定する。
糖尿病性腎症の早期発見のためHbA1c高値者に尿中アルブミンの測定を実施し、対象者を選定。早期受診を促すとともに医療機関と連携して保健指導を実施。

【実施内容】指導対象者に対して適切な保健指導を行った。
健康診査データより検査値の推移、生活習慣のアンケートから生活習慣の改善を確認した。定期的な通院の有無を確認した。

【目標値】平成29年度末を達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記のように設定した。

アウトプット	アウトカム
指導対象者の指導実施率 80%	糖尿病による新規透析患者の減少
指導完了者の生活習慣改善率 50%	
指導完了者の検査値改善率 50%	

【達成状況】平成28年度末

指導対象者の指導実施率	実施率 90%
指導完了者の生活習慣改善率	生活習慣改善率 53.4%
指導完了者の検査値改善率	改善率 66.7%

【考察】平成28年度の指導実施率は、90%で目標達成できた。しかし、指導拒否の人もいるため、今後も継続した関わりをもち、生活改善に繋げていきたい。生活習慣改善率、検査値改善率も53.4%・66.7%と目標達成できた。改善率の目標達成については、訪問による綿密な指導ができたからではないかと思われる。今後も訪問指導を継続していきたい。また、糖尿病性腎症を予防するためにも継続した追跡及び指導も必要と考える。

④健診異常値放置者受診勧奨事業

【実施年度】 平成29年度

【事業目的】 健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【事業概要】 特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】 健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送した。

【目標値】

アウトプット	アウトカム
対象者への通知率 100%	健診異常値放置者数 20%減
対象者の医療機関受診率 20%	

※受診勧奨を実施することにより、通知後医療機関を受診した人数の割合

【達成状況】 平成29年度末

対象者への通知率	100%
対象者の医療機関受診率	事業終了後検証

【考察】 平成29年度の対象者へ通知率は100%であり、医療機関への受診率等に基づき事業の実施方法等の見直しを検討する。

⑤生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

【実施年度】平成29年度

【事業目的】生活習慣病治療中断者の減少

【事業概要】かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知を作成し郵送した。通知後に医療機関に受診をしているか確認する。

【目標値】

アウトプット	アウトカム
対象者への通知率 100%	生活習慣病治療中断者数 20%減少
対象者の医療機関受診率 20%	

※受診勧奨を実施することにより、通知後医療機関を受診した人数の割合

【達成状況】

対象者への通知率	100%
対象者の医療機関受診率	事業終了後検証

【考察】平成29年度の対象者へ通知率は100%であり、医療機関への受診率等に基づき事業の実施方法等の見直しを検討する。

⑥ジェネリック医薬品差額通知事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】ジェネリック医薬品の普及率向上

【事業概要】レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えにより薬剤費軽減額が一定以上となる対象者を特定する。対象者に差額通知を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】平成27年度は年1回、447通送付し、平成28年度は年2回、627通を送付した。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討した。

【目標値】

アウトプット	アウトカム
対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率（数量ベース） 通知開始時平均より5%向上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
差額通知書発送枚数	447通	627通	—
数量ベース普及率	58.5%	74.0%	—

【考察】平成28年度の数量ベースの普及率は74.0%であり、平成27年度の58.5%から15.5%向上している。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

⑦重複服薬者適正化事業

【実施年度】平成29年度

【事業目的】重複服薬者数の減少

【事業概要】レセプトデータから、医療機関を不適切に受診し、重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】指導対象者に対して適切な保健指導を行い、指導後に医療機関への受診行動が適正化されているかを確認をする。

【目標値】

アウトプット	アウトカム
対象者への通知率 100%	対象者数20%減少

【達成状況】

対象者への通知率 100%	100%
重複服薬者数20%減少	改善率100%

【考察】平成28年度まで対象者の抽出方法が確立していなかった。
平成29年度より茶っシステムより対象者を抽出するようにした。
対象者は、同一月に3以上の医療機関より、同一薬効の薬剤の投与を受けているものとする。対象者の病気と共に内容が確認できた。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、御前崎市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均8,872人、レセプト件数は平均11,175件、患者数は平均4,534人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均50,835円となった。

基礎統計

		12カ月平均	12カ月合計
A	被保険者数(人)	8,872	
B	レセプト件数(件)	入院外	6,189
		入院	155
		調剤	4,831
		合計	11,175
C	医療費(円) ※	230,469,108	2,765,629,300
D	患者数(人) ※	4,534	54,404
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	25,977	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,624	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	50,835	
B/A	受診率(%)	126.0%	
D/A	有病率(%)	51.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万円以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは753件発生しており、レセプト件数全体の0.6%を占める。高額レセプトの医療費は7億8,413万円となり、医療費全体の28.4%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		12カ月合計
A	レセプト件数(件)	134,098
B	高額レセプト件数(件)	753
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	
C	医療費(円) ※	2,765,629,300
D	高額レセプトの医療費(円) ※	784,138,920
E	その他レセプトの医療費(円) ※	1,981,490,380
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万円以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万円以上)レセプト以外の医療費。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「頭蓋内損傷及び内臓の損傷」「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」「腎不全」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	1	8,069,960	227,400	8,297,360	8,297,360
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	嚙下障害	1	7,666,710	0	7,666,710	7,666,710
3	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG5D	16	39,011,820	67,439,500	106,451,320	6,653,208
4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 下葉肺腺癌	15	39,087,490	50,509,080	89,596,570	5,973,105
5	0209	白血病	急性骨髄性白血病, 急性リンパ性白血病, 赤白血病	4	20,582,490	2,363,230	22,945,720	5,736,430
6	0904	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症, 中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, くも膜下出血	5	27,166,310	271,430	27,437,740	5,487,548
7	0912	その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離StanfordA, 急性大動脈解離, 胸部大動脈瘤	6	27,019,300	2,297,830	29,317,130	4,886,188
8	0402	糖尿病	2型糖尿病性腎症第5期, 高血糖高浸透圧症候群, 糖尿病	5	10,417,060	12,550,980	22,968,040	4,593,608
9	0208	悪性リンパ腫	濾胞性リンパ腫, マントル細胞リンパ腫, 末梢性T細胞リンパ腫・詳細不明	4	16,621,450	1,751,100	18,372,550	4,593,138
10	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	ファブリー病, 脱水症, カルニチン欠乏症	4	8,613,760	9,465,590	18,079,350	4,519,838
11	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	1	4,405,480	38,390	4,443,870	4,443,870
12	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ, 悪性関節リウマチ	3	6,676,440	6,527,020	13,203,460	4,401,153
13	1010	喘息	気管支喘息重症発作	1	2,459,020	1,490,440	3,949,460	3,949,460
14	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 特発性血小板減少性紫斑病, マックル・ウエルズ症候群	4	7,272,940	7,627,540	14,900,480	3,725,120
15	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	7	14,103,630	11,176,580	25,280,210	3,611,459
16	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	10	2,039,410	33,242,720	35,282,130	3,528,213
17	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝細胞癌	4	11,807,680	1,767,900	13,575,580	3,393,895
18	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳癌, 乳房下外側部乳癌	8	11,890,440	15,160,150	27,050,590	3,381,324
19	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 肺動脈性肺高血圧症, 発作性心房細動	19	43,124,940	18,838,150	61,963,090	3,261,215
20	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 残胃癌, 胃幽門部癌	6	15,709,520	3,597,330	19,306,850	3,217,808

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の心疾患」「骨折」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 多発性骨髄腫	31	60,593,290	31,581,600	92,174,890	2,973,384
2	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 肺動脈性肺高血圧症, 発作性心房細動	19	43,124,940	18,838,150	61,963,090	3,261,215
2	1901	骨折	腰椎圧迫骨折, 大腿骨転子部骨折, 大腿骨顆上骨折	19	30,983,780	4,199,180	35,182,960	1,851,735
4	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 急性前壁心筋梗塞	17	34,097,010	8,543,290	42,640,300	2,508,253
5	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, 心原性脳塞栓症, 脳幹梗塞	16	36,884,130	5,762,200	42,646,330	2,665,396
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG5D	16	39,011,820	67,439,500	106,451,320	6,653,208
7	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 下葉肺腺癌	15	39,087,490	50,509,080	89,596,570	5,973,105
8	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣腫瘍, 三叉神経鞘腫, 上行結腸腫瘍	13	12,723,630	4,270,800	16,994,430	1,307,264
8	1302	関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 両側性原発性膝関節症	13	28,535,700	3,589,540	32,125,240	2,471,172
10	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 下行結腸癌, 横行結腸癌	11	20,156,760	5,897,020	26,053,780	2,368,525
10	0606	その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症, 慢性炎症性脱髄性多発神経炎, 多発性硬化症	11	25,166,160	4,173,610	29,339,770	2,667,252
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	裂孔原性網膜剥離, 網膜剥離, 網膜前膜	11	6,982,150	6,588,320	13,570,470	1,233,679
13	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	10	2,039,410	33,242,720	35,282,130	3,528,213
13	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 総胆管結石, 胆石性急性胆のう炎	10	9,659,990	2,514,970	12,174,960	1,217,496
15	0905	脳内出血	被殻出血, 視床出血, 血腫脳室内穿破	9	17,741,290	1,571,160	19,312,450	2,145,828
16	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳癌, 乳房下外側部乳癌	8	11,890,440	15,160,150	27,050,590	3,381,324
16	1113	その他の消化器系の疾患	腹壁瘻痕ヘルニア, 潰瘍性大腸炎, 大腸捻転症	8	11,252,540	2,712,480	13,965,020	1,745,628
18	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	7	14,103,630	11,176,580	25,280,210	3,611,459
18	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 非定型精神病, 妄想性障害	7	16,114,510	2,200,430	18,314,940	2,616,420
18	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 続発性気胸, 非特異性間質性肺炎	7	11,956,780	3,952,190	15,908,970	2,272,710

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

① 大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の17.3%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の13.5%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	84,324,318	3.1%	11	9,128	12	2,152	9	39,184	14
II. 新生物<腫瘍>	371,817,560	13.5%	2	7,972	13	1,890	11	196,729	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	30,777,284	1.1%	15	2,794	17	583	16	52,791	10
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	309,688,152	11.2%	3	48,097	2	3,781	2	81,906	7
V. 精神及び行動の障害	227,986,738	8.3%	6	11,891	10	942	14	242,024	1
VI. 神経系の疾患	122,175,710	4.4%	10	22,389	6	1,987	10	61,488	9
VII. 眼及び付属器の疾患	132,942,896	4.8%	9	16,316	7	2,859	6	46,500	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	12,035,558	0.4%	17	3,330	16	835	15	14,414	19
IX. 循環器系の疾患	476,858,371	17.3%	1	51,494	1	3,687	3	129,335	6
X. 呼吸器系の疾患	145,030,724	5.3%	8	25,512	5	4,330	1	33,494	15
X I. 消化器系の疾患 ※	159,524,948	5.8%	7	31,660	3	3,625	4	44,007	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	51,112,721	1.9%	13	12,540	8	2,402	7	21,279	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	257,950,948	9.3%	4	29,277	4	3,293	5	78,333	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	236,249,953	8.6%	5	12,383	9	1,814	12	130,237	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	9,713,389	0.4%	18	255	20	75	20	129,512	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	983,330	0.0%	20	9	21	7	21	140,476	3
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,320,679	0.0%	19	390	18	109	18	12,116	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,096,762	1.4%	14	10,121	11	2,166	8	18,050	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	76,653,861	2.8%	12	4,870	14	1,459	13	52,539	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	12,648,716	0.5%	16	4,358	15	574	17	22,036	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	583,832	0.0%	21	288	19	76	19	7,682	21
合計	2,759,476,450			133,284		7,979		345,842	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

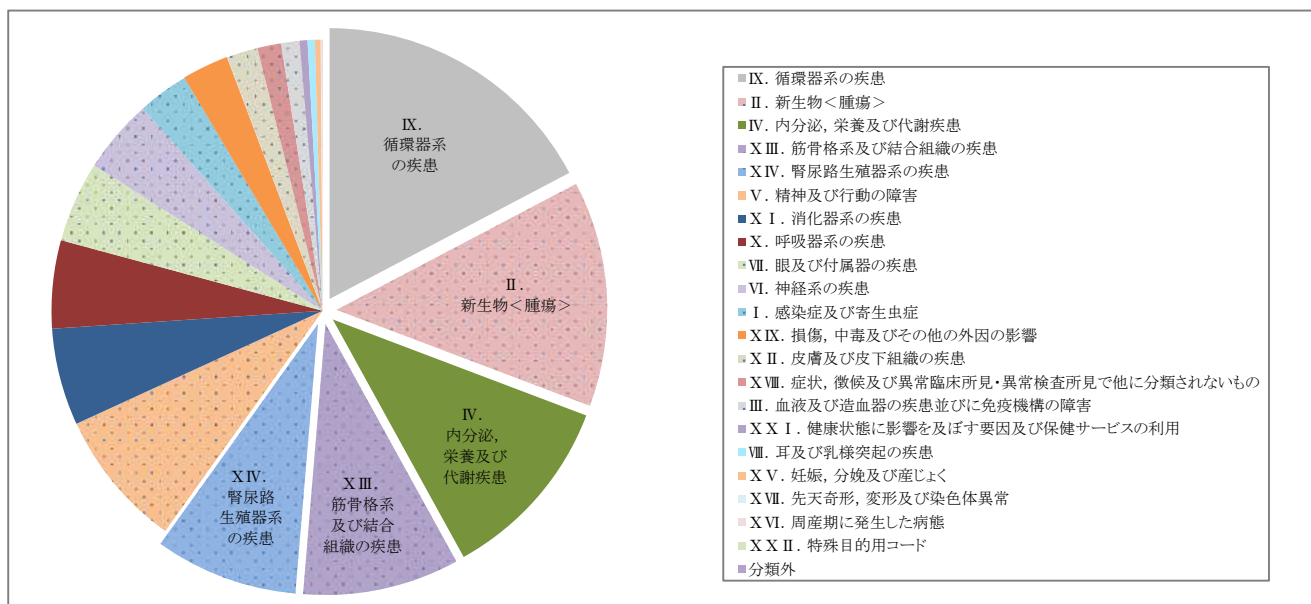
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

平成28年度の疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「腎尿路生殖器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合 ※対象診療年月：平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	175,066,350	6.3%	192
2	0402	糖尿病	168,828,965	6.1%	2,359
3	0901	高血圧性疾患	148,324,822	5.4%	2,761
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	127,977,865	4.6%	294
5	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	111,921,095	4.1%	811
6	0903	その他の心疾患	109,960,155	4.0%	1,441
7	0403	脂質異常症	91,430,001	3.3%	2,208
8	1113	その他の消化器系の疾患	88,417,810	3.2%	2,217
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	84,129,624	3.0%	200
10	0606	その他の神経系の疾患	79,632,148	2.9%	1,841

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	148,324,822	2,761	34.6%
2	1003	その他の急性上気道感染症	17,633,802	2,434	30.5%
3	0402	糖尿病	168,828,965	2,359	29.6%
4	0703	屈折及び調節の障害	9,573,781	2,222	27.8%
5	1113	その他の消化器系の疾患	88,417,810	2,217	27.8%
6	0403	脂質異常症	91,430,001	2,208	27.7%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,096,762	2,166	27.1%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	78,414,647	2,062	25.8%
9	1006	アレルギー性鼻炎	21,807,578	1,842	23.1%
10	0606	その他の神経系の疾患	79,632,148	1,841	23.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0904 くも膜下出血	22,187,011	14	1,584,787
2	1402 腎不全	175,066,350	192	911,804
3	0209 白血病	16,060,917	18	892,273
4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	25,393,396	33	769,497
5	0208 悪性リンパ腫	18,847,087	43	438,304
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	127,977,865	294	435,299
7	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	84,129,624	200	420,648
8	0601 パーキンソン病	14,579,128	66	220,896
9	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,405,664	39	189,889
10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	26,719,637	147	181,766

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	2,759,476,450			133,284			7,979		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	84,324,318	3.1%		9,128	6.8%		2,152	27.0%		39,184	
0101 腸管感染症	6,225,013	0.2%	75	1,981	1.5%	50	694	8.7%	30	8,970	104
0102 結核	2,858,112	0.1%	88	309	0.2%	93	93	1.2%	90	30,732	57
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	762,658	0.0%	108	294	0.2%	94	152	1.9%	79	5,017	113
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	6,615,394	0.2%	72	1,420	1.1%	58	390	4.9%	49	16,963	83
0105 ウイルス性肝炎	38,751,274	1.4%	19	1,080	0.8%	61	240	3.0%	66	161,464	12
0106 その他のウイルス性疾患	3,409,221	0.1%	86	310	0.2%	92	122	1.5%	83	27,944	60
0107 真菌症	11,765,441	0.4%	58	2,812	2.1%	42	579	7.3%	35	20,320	74
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	24,730	0.0%	119	24	0.0%	113	5	0.1%	116	4,946	114
0109 その他の感染症及び寄生虫症	13,912,475	0.5%	50	2,110	1.6%	48	620	7.8%	34	22,439	71
II. 新生物<腫瘍>	371,817,560	13.5%		7,972	6.0%		1,890	23.7%		196,729	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	19,839,725	0.7%	38	757	0.6%	75	267	3.3%	64	74,306	34
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	29,380,123	1.1%	28	1,029	0.8%	64	328	4.1%	58	89,574	30
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	25,393,396	0.9%	32	286	0.2%	98	33	0.4%	105	769,497	4
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	8,823,405	0.3%	66	237	0.2%	103	71	0.9%	93	124,273	21
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	84,129,624	3.0%	9	883	0.7%	72	200	2.5%	70	420,648	7
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	26,719,637	1.0%	31	683	0.5%	76	147	1.8%	81	181,766	10
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	3,805,382	0.1%	85	293	0.2%	95	120	1.5%	84	31,712	56
0208 悪性リンパ腫	18,847,087	0.7%	39	267	0.2%	99	43	0.5%	102	438,304	5
0209 白血病	16,060,917	0.6%	47	132	0.1%	106	18	0.2%	109	892,273	3
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	111,921,095	4.1%	5	3,509	2.6%	37	811	10.2%	27	138,004	18
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	26,897,169	1.0%	30	1,859	1.4%	52	759	9.5%	28	35,438	53
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	30,777,284	1.1%		2,794	2.1%		583	7.3%		52,791	
0301 貧血	5,982,536	0.2%	76	1,892	1.4%	51	372	4.7%	50	16,082	85
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	24,794,748	0.9%	33	1,061	0.8%	62	292	3.7%	61	84,914	31
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	309,688,152	11.2%		48,097	36.1%		3,781	47.4%		81,906	
0401 甲状腺障害	12,453,321	0.5%	55	2,759	2.1%	43	531	6.7%	41	23,453	70
0402 糖尿病	168,828,965	6.1%	2	23,577	17.7%	3	2,359	29.6%	3	71,568	35
0403 脂質異常症	91,430,001	3.3%	7	31,172	23.4%	2	2,208	27.7%	6	41,409	50
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	36,975,865	1.3%	21	10,048	7.5%	10	1,151	14.4%	20	32,125	55
V. 精神及び行動の障害	227,986,738	8.3%		11,891	8.9%		942	11.8%		242,024	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	2,794,833	0.1%	90	57	0.0%	110	24	0.3%	107	116,451	23
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6,474,843	0.2%	74	258	0.2%	101	45	0.6%	101	143,885	16
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	127,977,865	4.6%	4	4,966	3.7%	28	294	3.7%	60	435,299	6

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,759,476,450	133,284	7,979

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	64,485,299	2.3%	13	6,106	4.6%	24	411	5.2%	47	156,899	14
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	13,553,949	0.5%	51	5,234	3.9%	26	474	5.9%	43	28,595	59
0506	知的障害<精神遅滞>	2,250,067	0.1%	92	66	0.0%	108	16	0.2%	110	140,629	17
0507	その他の精神及び行動の障害	10,449,882	0.4%	61	560	0.4%	82	101	1.3%	87	103,464	25
VI. 神経系の疾患		122,175,710	4.4%		22,389	16.8%		1,987	24.9%		61,488	
0601	パーキンソン病	14,579,128	0.5%	49	938	0.7%	68	66	0.8%	95	220,896	8
0602	アルツハイマー病	8,638,941	0.3%	67	582	0.4%	81	54	0.7%	97	159,980	13
0603	てんかん	13,359,859	0.5%	52	2,031	1.5%	49	174	2.2%	75	76,781	32
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	4,705,244	0.2%	81	217	0.2%	105	35	0.4%	104	134,436	19
0605	自律神経系の障害	1,260,390	0.0%	102	439	0.3%	84	51	0.6%	99	24,714	68
0606	その他の神経系の疾患	79,632,148	2.9%	10	20,097	15.1%	5	1,841	23.1%	10	43,255	47
VII. 眼及び付属器の疾患		132,942,896	4.8%		16,316	12.2%		2,859	35.8%		46,500	
0701	結膜炎	10,695,863	0.4%	59	8,149	6.1%	15	1,486	18.6%	13	7,198	110
0702	白内障	34,258,605	1.2%	24	8,353	6.3%	14	1,287	16.1%	18	26,619	64
0703	屈折及び調節の障害	9,573,781	0.3%	62	11,830	8.9%	8	2,222	27.8%	4	4,309	116
0704	その他の眼及び付属器の疾患	78,414,647	2.8%	11	12,896	9.7%	6	2,062	25.8%	8	38,028	52
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		12,035,558	0.4%		3,330	2.5%		835	10.5%		14,414	
0801	外耳炎	602,473	0.0%	110	420	0.3%	85	150	1.9%	80	4,016	118
0802	その他の外耳疾患	1,538,613	0.1%	100	903	0.7%	70	340	4.3%	57	4,525	115
0803	中耳炎	1,985,190	0.1%	96	542	0.4%	83	159	2.0%	78	12,485	91
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,972,211	0.1%	97	414	0.3%	86	173	2.2%	76	11,400	97
0805	メニエール病	1,161,141	0.0%	105	593	0.4%	80	106	1.3%	86	10,954	99
0806	その他の内耳疾患	1,963,071	0.1%	98	661	0.5%	77	176	2.2%	73	11,154	98
0807	その他の耳疾患	2,812,859	0.1%	89	959	0.7%	67	243	3.0%	65	11,576	95
IX. 循環器系の疾患		476,858,371	17.3%		51,494	38.6%		3,687	46.2%		129,335	
0901	高血圧性疾患	148,324,822	5.4%	3	41,933	31.5%	1	2,761	34.6%	1	53,721	41
0902	虚血性心疾患	70,032,696	2.5%	12	7,787	5.8%	17	702	8.8%	29	99,762	27
0903	その他の心疾患	109,960,155	4.0%	6	12,234	9.2%	7	1,441	18.1%	15	76,308	33
0904	くも膜下出血	22,187,011	0.8%	35	63	0.0%	109	14	0.2%	111	1,584,787	1
0905	脳内出血	16,215,682	0.6%	46	395	0.3%	87	108	1.4%	85	150,145	15
0906	脳梗塞	50,382,613	1.8%	15	3,632	2.7%	36	424	5.3%	46	118,827	22
0907	脳動脈硬化(症)	12,846	0.0%	120	4	0.0%	119	3	0.0%	118	4,282	117
0908	その他の脳血管疾患	17,640,426	0.6%	43	1,187	0.9%	60	275	3.4%	63	64,147	37
0909	動脈硬化(症)	8,848,301	0.3%	64	2,897	2.2%	41	451	5.7%	45	19,619	75
0911	低血圧(症)	1,244,602	0.0%	103	234	0.2%	104	25	0.3%	106	49,784	44
0912	その他の循環器系の疾患	32,009,217	1.2%	25	3,336	2.5%	38	560	7.0%	38	57,159	40
X. 呼吸器系の疾患		145,030,724	5.3%		25,512	19.1%		4,330	54.3%		33,494	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	955,804	0.0%	106	1,015	0.8%	65	346	4.3%	54	2,762	120
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	6,870,801	0.2%	70	3,794	2.8%	34	1,242	15.6%	19	5,532	112
1003	その他の急性上気道感染症	17,633,802	0.6%	44	8,801	6.6%	13	2,434	30.5%	2	7,245	109

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,759,476,450	133,284	7,979

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004 肺炎	8,831,648	0.3%	65	911	0.7%	69	354	4.4%	52	24,948	67
1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,934,455	0.2%	80	1,600	1.2%	54	578	7.2%	36	8,537	105
1006 アレルギー性鼻炎	21,807,578	0.8%	36	9,865	7.4%	11	1,842	23.1%	9	11,839	93
1007 慢性副鼻腔炎	4,201,330	0.2%	84	1,322	1.0%	59	240	3.0%	66	17,506	81
1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	2,113,025	0.1%	94	960	0.7%	66	363	4.5%	51	5,821	111
1009 慢性閉塞性肺疾患	12,802,483	0.5%	53	2,228	1.7%	46	278	3.5%	62	46,052	45
1010 喘息	28,769,156	1.0%	29	6,837	5.1%	22	968	12.1%	25	29,720	58
1011 その他の呼吸器系の疾患	36,110,642	1.3%	23	5,139	3.9%	27	1,490	18.7%	12	24,235	69
X I . 消化器系の疾患	159,524,948	5.8%		31,660	23.8%		3,625	45.4%		44,007	
1101 う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102 歯肉炎及び歯周疾患	11,239	0.0%	121	17	0.0%	114	9	0.1%	113	1,249	122
1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	25,161	0.0%	118	10	0.0%	116	7	0.1%	115	3,594	119
1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	16,671,061	0.6%	45	4,927	3.7%	29	639	8.0%	33	26,089	66
1105 胃炎及び十二指腸炎	18,675,319	0.7%	40	9,800	7.4%	12	1,633	20.5%	11	11,436	96
1106 痔核	4,621,319	0.2%	82	651	0.5%	78	175	2.2%	74	26,408	65
1107 アルコール性肝疾患	3,076,319	0.1%	87	291	0.2%	96	52	0.7%	98	59,160	38
1108 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	2,254,860	0.1%	91	1,051	0.8%	63	101	1.3%	87	22,325	72
1109 肝硬変(アルコール性のものを除く)	2,054,722	0.1%	95	366	0.3%	89	49	0.6%	100	41,933	48
1110 その他の肝疾患	7,154,718	0.3%	69	2,244	1.7%	45	692	8.7%	31	10,339	100
1111 胆石症及び胆のう炎	14,907,114	0.5%	48	887	0.7%	71	225	2.8%	69	66,254	36
1112 膵疾患	1,655,306	0.1%	99	263	0.2%	100	86	1.1%	91	19,248	77
1113 その他の消化器系の疾患	88,417,810	3.2%	8	20,991	15.7%	4	2,217	27.8%	5	39,882	51
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患	51,112,721	1.9%		12,540	9.4%		2,402	30.1%		21,279	
1201 皮膚及び皮下組織の感染症	5,424,031	0.2%	77	1,564	1.2%	57	540	6.8%	40	10,045	101
1202 皮膚炎及び湿疹	21,131,158	0.8%	37	7,451	5.6%	19	1,478	18.5%	14	14,297	86
1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	24,557,532	0.9%	34	6,550	4.9%	23	1,300	16.3%	17	18,890	78
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患	257,950,948	9.3%		29,277	22.0%		3,293	41.3%		78,333	
1301 炎症性多発性関節障害	61,446,258	2.2%	14	4,194	3.1%	33	548	6.9%	39	112,128	24
1302 関節症	44,098,750	1.6%	16	6,905	5.2%	21	855	10.7%	26	51,577	43
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	43,642,212	1.6%	17	8,137	6.1%	16	1,050	13.2%	23	41,564	49
1304 椎間板障害	12,379,950	0.4%	57	2,142	1.6%	47	351	4.4%	53	35,271	54
1305 頸腕症候群	5,407,414	0.2%	78	4,553	3.4%	31	646	8.1%	32	8,371	106
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	12,448,273	0.5%	56	7,345	5.5%	20	1,065	13.3%	22	11,689	94
1307 その他の脊柱障害	4,356,114	0.2%	83	1,636	1.2%	53	325	4.1%	59	13,403	89
1308 肩の傷害<損傷>	6,570,785	0.2%	73	3,085	2.3%	40	466	5.8%	44	14,100	87
1309 骨の密度及び構造の障害	31,045,025	1.1%	26	4,710	3.5%	30	531	6.7%	41	58,465	39
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	36,556,167	1.3%	22	7,765	5.8%	18	1,354	17.0%	16	26,999	63

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,759,476,450	133,284	7,979

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	10,639,002	0.4%	60	1,566	1.2%	56	235	2.9%	68	45,272	46
1402 腎不全	175,066,350	6.3%	1	2,510	1.9%	44	192	2.4%	72	911,804	2
1403 尿路結石症	5,289,239	0.2%	79	785	0.6%	74	195	2.4%	71	27,124	62
1404 その他の腎尿路系の疾患	17,725,522	0.6%	42	5,704	4.3%	25	1,026	12.9%	24	17,276	82
1405 前立腺肥大(症)	17,834,445	0.6%	41	3,770	2.8%	35	345	4.3%	55	51,694	42
1406 その他の男性生殖器の疾患	824,705	0.0%	107	350	0.3%	91	65	0.8%	96	12,688	90
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,223,420	0.1%	93	637	0.5%	79	133	1.7%	82	16,717	84
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	6,647,270	0.2%	71	822	0.6%	73	342	4.3%	56	19,436	76
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	9,713,389	0.4%		255	0.2%		75	0.9%		129,512	
1501 流産	89,190	0.0%	116	11	0.0%	115	9	0.1%	113	9,910	102
1502 妊娠高血圧症候群	101,621	0.0%	115	2	0.0%	121	1	0.0%	121	101,621	26
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	9,522,578	0.3%	63	246	0.2%	102	71	0.9%	93	134,121	20
XVI. 周産期に発生した病態	983,330	0.0%		9	0.0%		7	0.1%		140,476	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	287,884	0.0%	113	5	0.0%	118	3	0.0%	118	95,961	28
1602 その他の周産期に発生した病態	695,446	0.0%	109	4	0.0%	119	4	0.1%	117	173,862	11
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,320,679	0.0%		390	0.3%		109	1.4%		12,116	
1701 心臓の先天奇形	122,208	0.0%	114	39	0.0%	112	13	0.2%	112	9,401	103
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	1,198,471	0.0%	104	360	0.3%	90	99	1.2%	89	12,106	92
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,096,762	1.4%		10,121	7.6%		2,166	27.1%		18,050	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,096,762	1.4%	18	10,121	7.6%	9	2,166	27.1%	7	18,050	79
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	76,653,861	2.8%		4,870	3.7%		1,459	18.3%		52,539	
1901 骨折	37,787,466	1.4%	20	1,573	1.2%	55	398	5.0%	48	94,943	29
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,405,664	0.3%	68	88	0.1%	107	39	0.5%	103	189,889	9
1903 熱傷及び腐食	335,101	0.0%	112	56	0.0%	111	24	0.3%	107	13,963	88
1904 中毒	1,273,815	0.0%	101	371	0.3%	88	169	2.1%	77	7,537	108
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	29,851,815	1.1%	27	3,226	2.4%	39	1,100	13.8%	21	27,138	61
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	12,648,716	0.5%		4,358	3.3%		574	7.2%		22,036	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	53,395	0.0%	117	9	0.0%	117	3	0.0%	118	17,798	80
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	2,379	0.0%	122	1	0.0%	122	1	0.0%	121	2,379	121
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,759,476,450	133,284	7,979

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	12,592,942	0.5%	54	4,348	3.3%	32	570	7.1%	37	22,093	73
X X II . 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		583,832	0.0%		288	0.2%		76	1.0%		7,682	
9999	分類外	583,832	0.0%	111	288	0.2%	97	76	1.0%	92	7,682	107

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

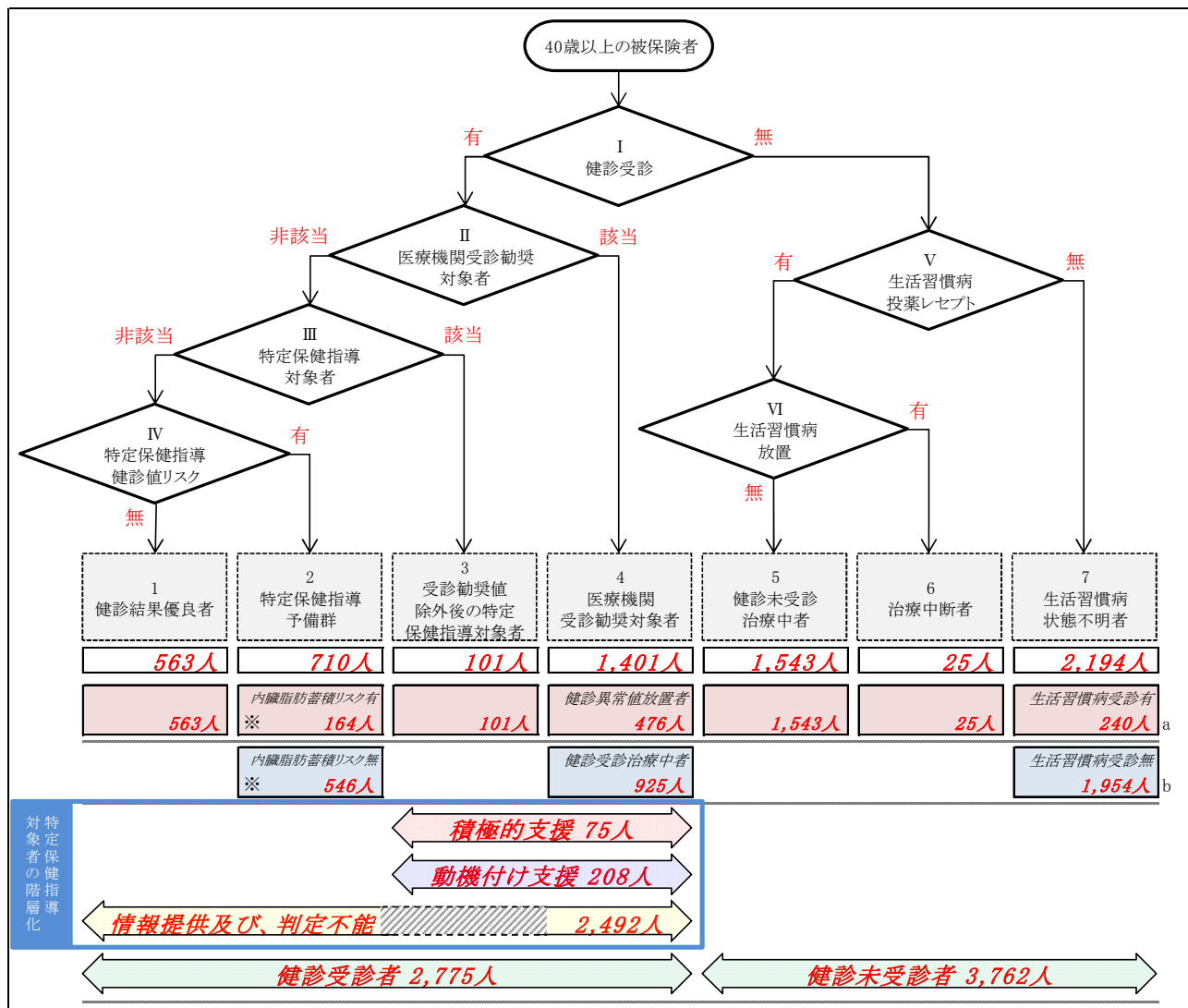
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

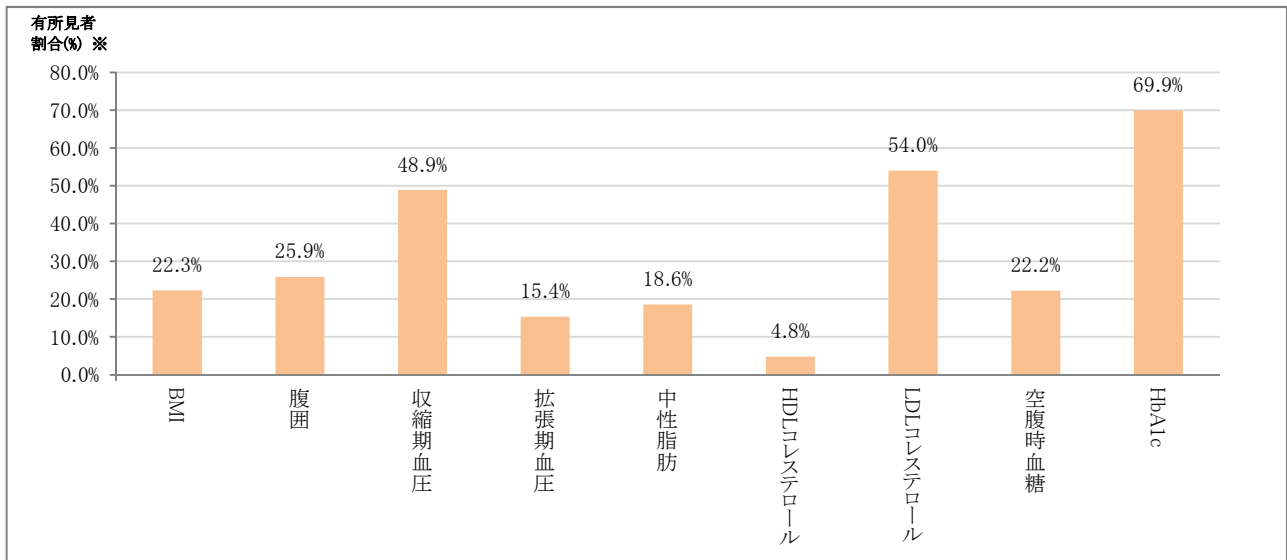
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人)※	2,777	2,777	2,777	2,777
有所見者数(人)※	618	719	1,358	429
有所見者割合(%) ※	22.3%	25.9%	48.9%	15.4%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,777	2,777	2,777	2,777	2,777
有所見者数(人) ※	517	134	1,500	616	1,942
有所見者割合(%) ※	18.6%	4.8%	54.0%	22.2%	69.9%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

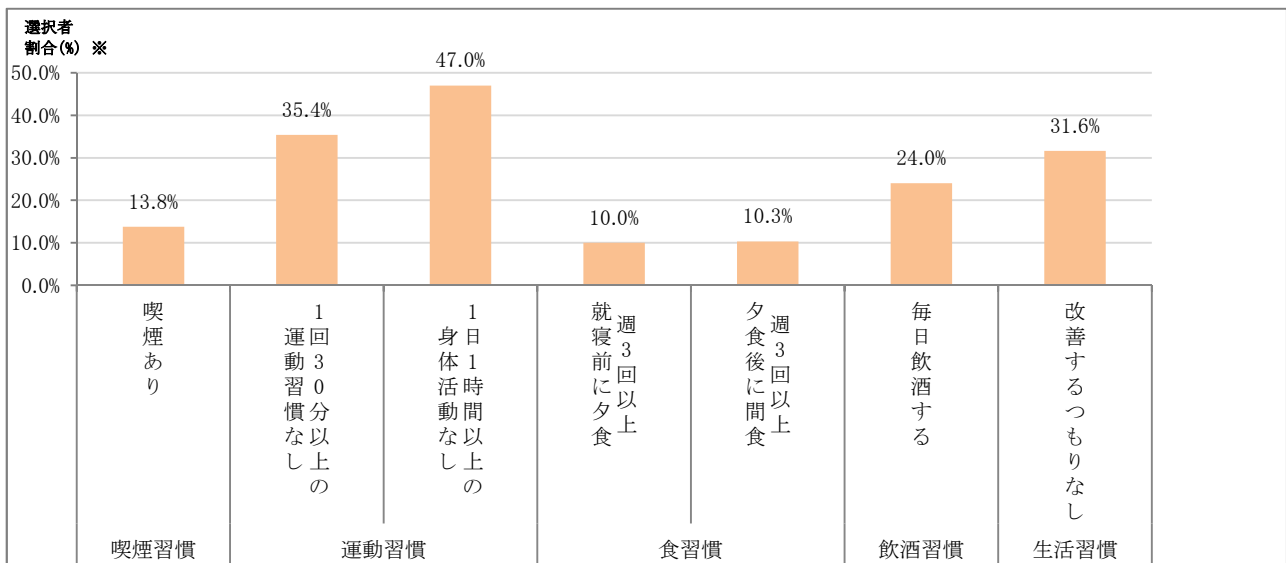
空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	2,758	2,758	2,758
選択者数(人) ※	380	978	1,297
選択者割合(%) ※	13.8%	35.4%	47.0%

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	2,758	2,758	2,758	2,758
選択者数(人) ※	276	285	664	872
選択者割合(%) ※	10.0%	10.3%	24.0%	31.6%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は274人である。このうち、積極的支援の対象者は71人、動機付け支援の対象者は203人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者			
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			274人			
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	8人	71人 26%		
	●	●	●			因子数3	血糖＋血圧＋脂質		11人	
	●	●		●	血糖＋血圧＋喫煙		3人			
	●		●	●	血糖＋脂質＋喫煙		4人			
	●	●	●	●	血圧＋脂質＋喫煙		4人			
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	10人			
	●		●			血糖＋脂質	6人			
	●		●			血圧＋脂質	8人			
	●			●		血糖＋喫煙	4人			
		●		●		血圧＋喫煙	7人			
			●	●		脂質＋喫煙	6人			
	動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙		4人	203人 74%
		●	●			因子数3	血糖＋血圧＋脂質		24人	
●		●		●	血糖＋血圧＋喫煙		4人			
●			●	●	血糖＋脂質＋喫煙		3人			
●		●	●	●	血圧＋脂質＋喫煙		1人			
●		●			因子数2	血糖＋血圧	42人			
●			●			血糖＋脂質	10人			
●			●			血圧＋脂質	9人			
●				●		血糖＋喫煙	2人			
		●		●		血圧＋喫煙	2人			
			●	●		脂質＋喫煙	4人			
●					因子数1	血糖	31人			
		●				血圧	56人			
			●			脂質	11人			

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

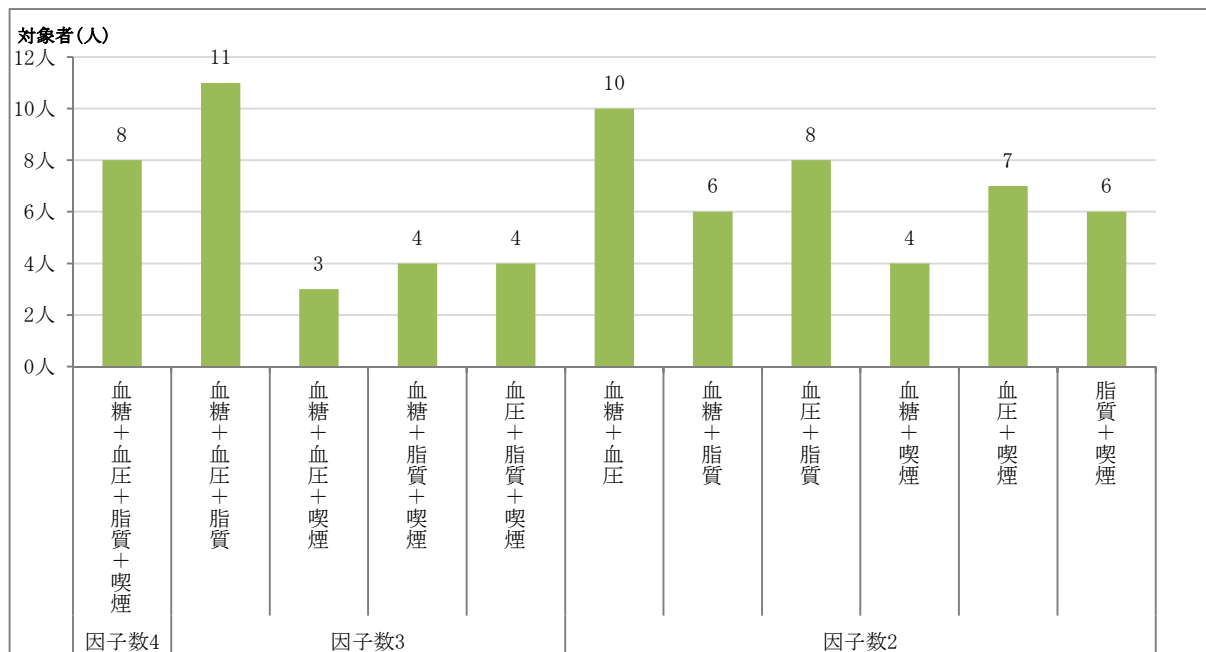
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

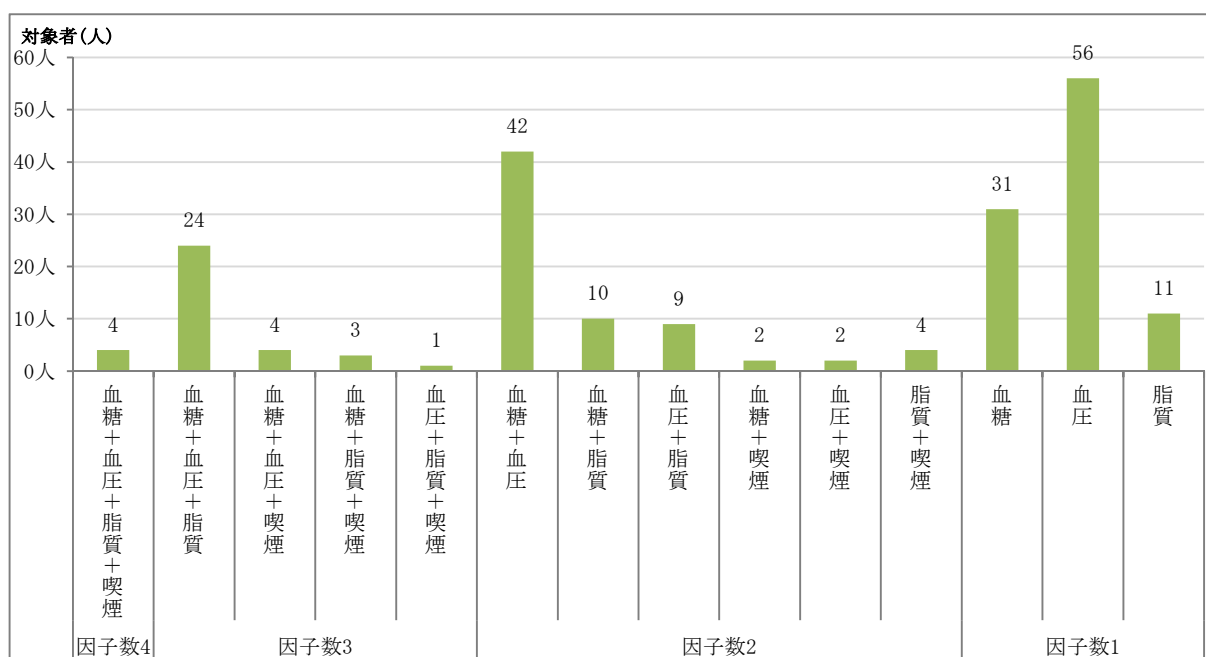
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する476人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする 	
条件設定により対象となった候補者数	476 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		除外理由別人数
除外	がん、難病等	100 人
除外患者を除いた候補者数		376 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者376人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 1人	候補者C 1人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 10人	候補者D 49人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 54人	候補者F 261人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			376人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者43人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者 		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	25 人
	上記以外のグループ	18 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		43 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	2 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		41 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者41人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 1人	候補者A2 1人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 2人	候補者B2 3人	候補者B3 2人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 4人	候補者C2 15人	候補者C3 13人
		毎月受診	2~3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数				41人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月~平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、76.2%が生活習慣を起因とするものであり、糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

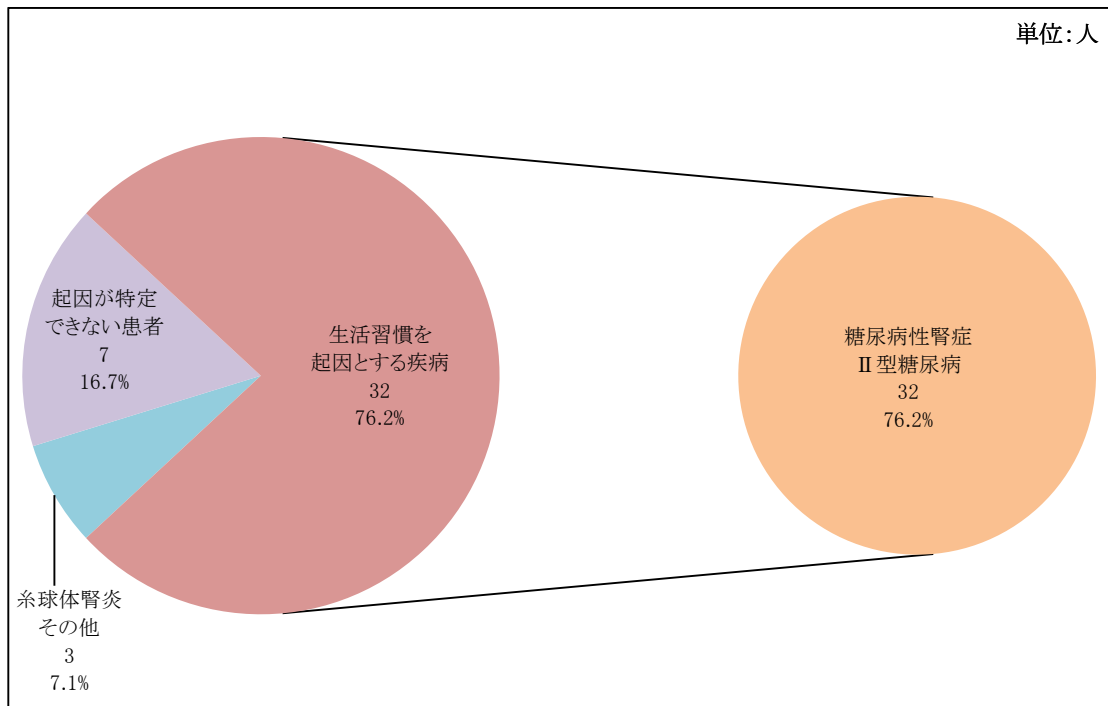
平成28年度

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	41
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	42

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

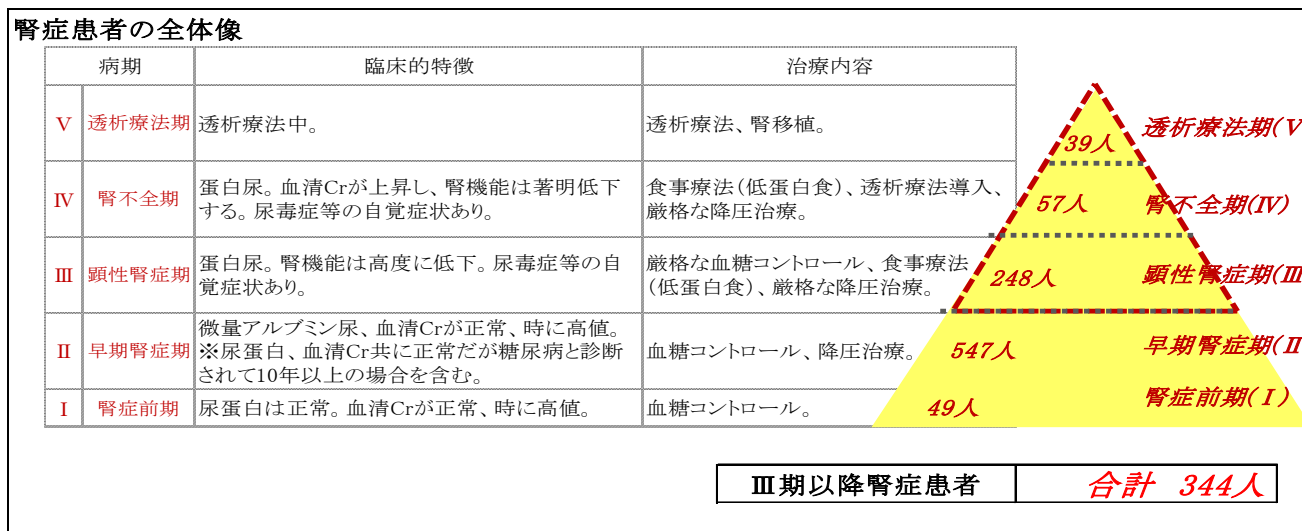
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者344人中96人の適切な指導対象者を特定した。

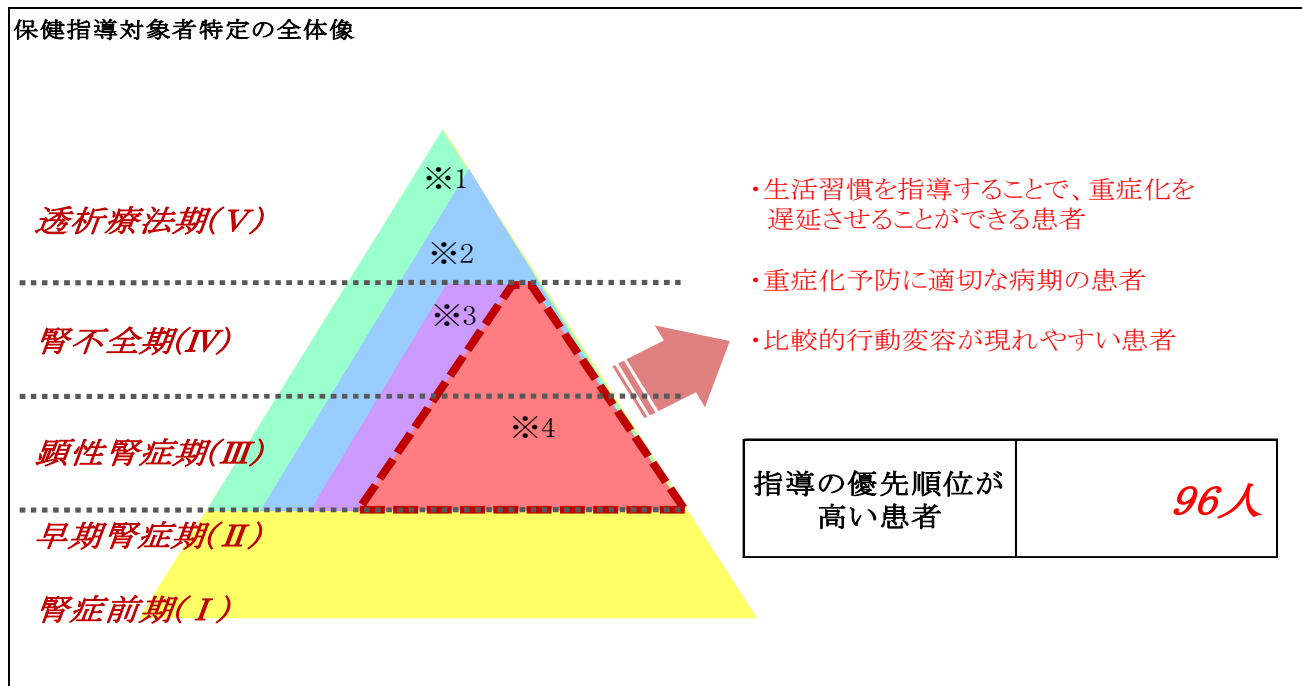
腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) ※	4	4	7	4	7	6	6	5	6	4	5	5
12カ月間の延べ人数											63	
12カ月間の実人数											42	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) ※	15	14	18	17	15	15	18	16	17	12	14	19
12カ月間の延べ人数											190	
12カ月間の実人数											78	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) ※	49	37	30	36	34	45	26	22	22	22	26	36
12カ月間の延べ人数											385	
12カ月間の実人数											219	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は42人、頻回受診者は78人、重複服薬者は219人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に 3医療機関以上 受診している患者	
・頻回受診患者 …1カ月間で 同一医療機関に12回以上 受診している患者	
・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、 同系医薬品の日数合計が60日を超える 患者	
条件設定により候補者となった患者数	321 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定			
		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	201 人
除外②	がん、難病等 ※	201 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数			120 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者120人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは4人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 1人	候補者C 0人	候補者 と し な い 116人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 2人	候補者D 1人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 0人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			4人	

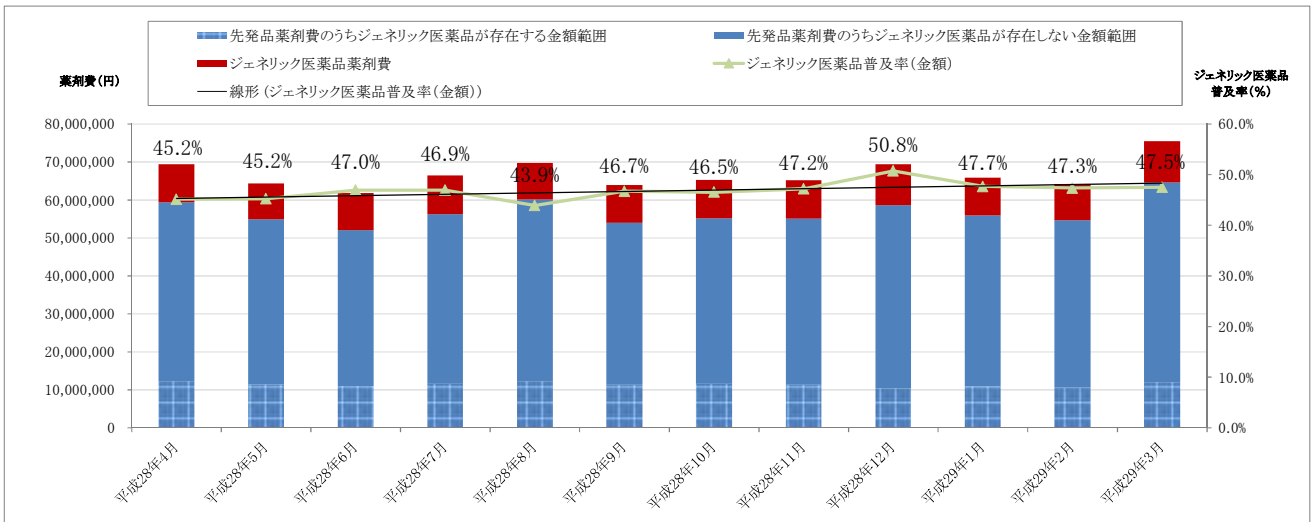
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は46.8%(金額ベース)、74.0%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

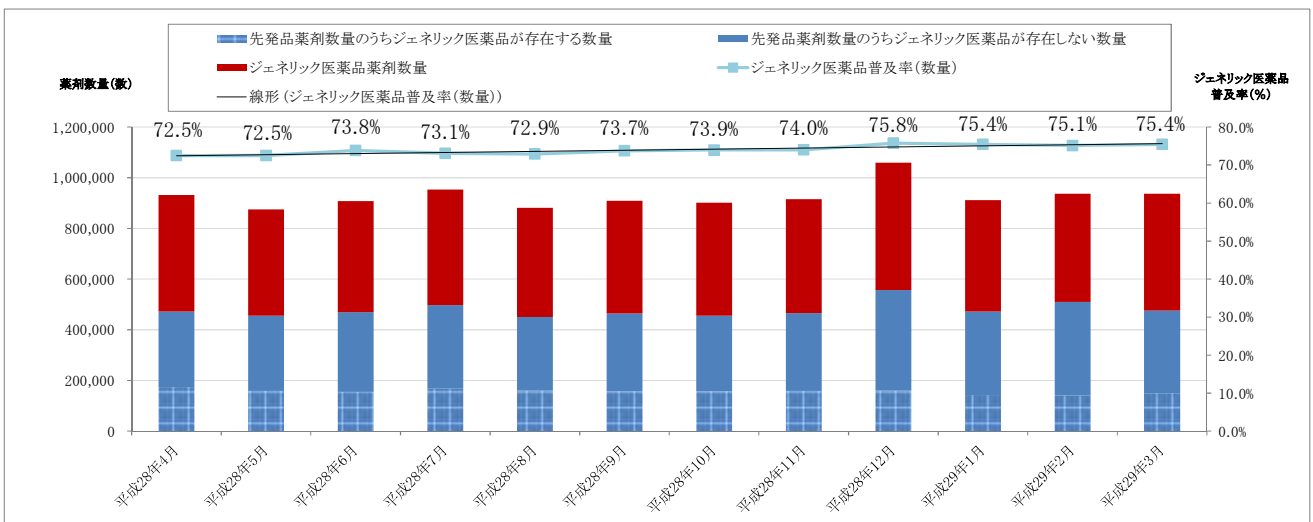


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



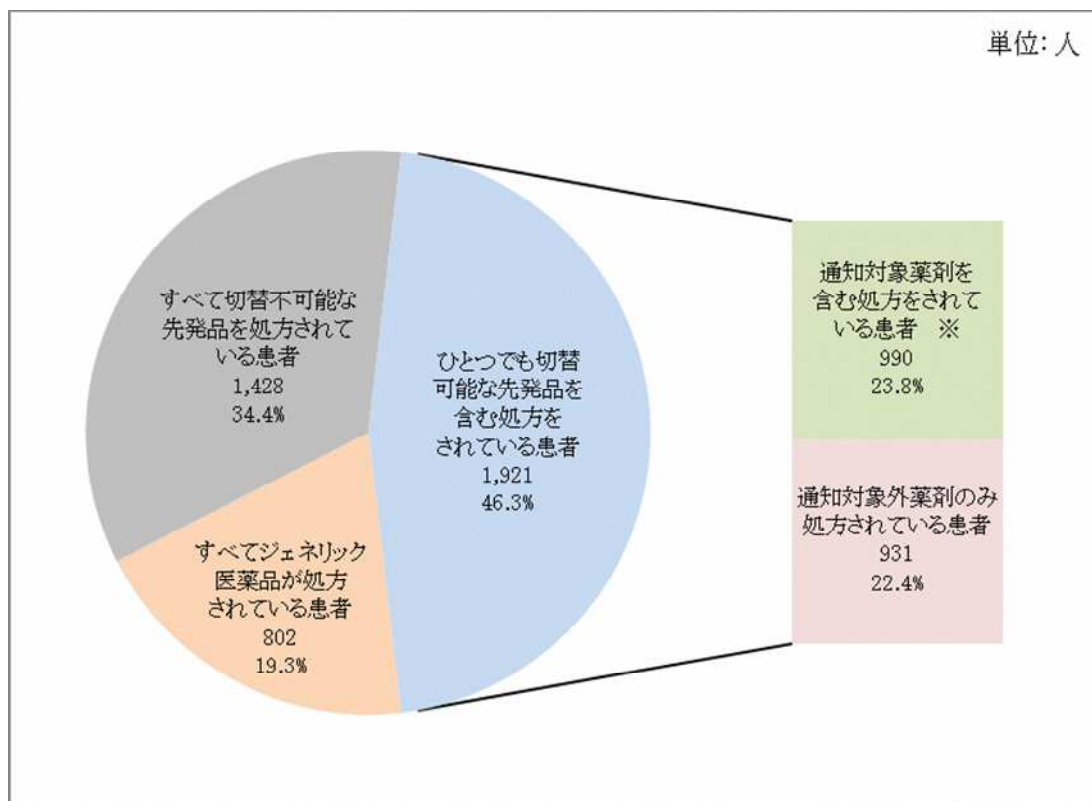
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は4,151人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は1,921人で患者数全体の46.3%を占める。さらにこのうち基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、990人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の23.8%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライズン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	476,858,371円
2位	新生物<腫瘍>	371,817,560円
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	309,688,152円

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	4,330人
2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,781人
3位	循環器系の疾患	3,687人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	242,024円
2位	新生物<腫瘍>	196,729円
3位	周産期に発生した病態	140,476円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	腎不全	175,066,350円
2位	糖尿病	168,828,965円
3位	高血圧性疾患	148,324,822円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2,761人
2位	その他の急性上気道感染症	2,434人
3位	糖尿病	2,359人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	くも膜下出血	1,584,787円
2位	腎不全	911,804円
3位	白血病	892,273円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	753件
高額レセプト件数割合	0.6%
高額レセプト医療費割合	28.4%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	8,297,360円
2位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,666,710円
3位	腎不全	6,653,208円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	476人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	43人
------------	-----

【医療機関受診状況】

重複受診者	42人
頻回受診者	78人
重複服薬者	219人

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	74.0%
--------------	-------

(2)分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率</p> <p>疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診勧奨
<p>◆特定保健指導実施率</p> <p>特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の実施
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者</p> <p>健診異常値放置者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆生活習慣病治療中断者</p> <p>生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆糖尿病性腎症</p> <p>透析患者のうち、生活習慣病を起因とする疾病の全てが糖尿病である。また、透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防
<p>◆重複受診者・頻回受診者、重複服薬者</p> <p>重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率</p> <p>国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査 受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、訪問等で行う。
健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している 対象者の減少	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
糖尿病性腎症重症化 予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行 阻止	糖尿病性腎症重症化の状況を医師会と共有し検討する機会を設定する。 糖尿病性腎症の早期発見のため特定健康診査のHbA1c高値者に尿中アルブミンの測定を実施し、対象者を選定。早期受診を促すとともに医療機関と連携して保健指導を実施。
重複受診者、頻回受診者、 重複服薬者 受診行動適正化事業	重複受診者、頻回受診者、 重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できた対象者に対し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及 率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

実施内容 平成30年度～平成35年度	目標値	
	アウトプット	アウトカム
対象者を特定し、受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する。	対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率 5% 向上
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移、生活習慣のアンケートから生活習慣の改善を確認する。	対象者の指導実施率 60% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 65% 指導完了者の検査値改善率70% 積極的支援及び動機付け支援対象者割合が8%以下
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 20% 健診異常値放置者数 50% 減少
生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 20% 生活習慣病治療中断者数 50% 減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。健康診査データより検査値の推移、生活習慣のアンケートから生活習慣の改善を確認する。定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導実施率 80%	指導完了者の生活習慣改善率 65% 指導完了者の検査値改善率 70% 糖尿病による新規透析患者の減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する。	対象者の指導実施率 60% 以上	重複受診者、頻回受診者、重複服薬者指導完了者の医療費20%減少
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)通知開始時平均より 5% 向上

2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期			第2期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査 受診勧奨事業			P			P			
		実施			D			D	
			評価			CA			CA
特定保健指導事業			P			P			
		実施			D			D	
			評価			CA			CA
健診異常値放置者 受診勧奨事業			P			P			
					D			D	
			評価			CA			CA
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業			P			P			
		実施			D			D	
			評価			CA			CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業			P			P			
		実施			D			D	
			評価			CA			CA
重複受診者、頻回受診者、 重複服薬者 受診行動適正化事業			P			P			
		実施			D			D	
			評価			CA			CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業			P			P			
		実施			D			D	
			評価			CA			CA

3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健康診査受診勧奨事業

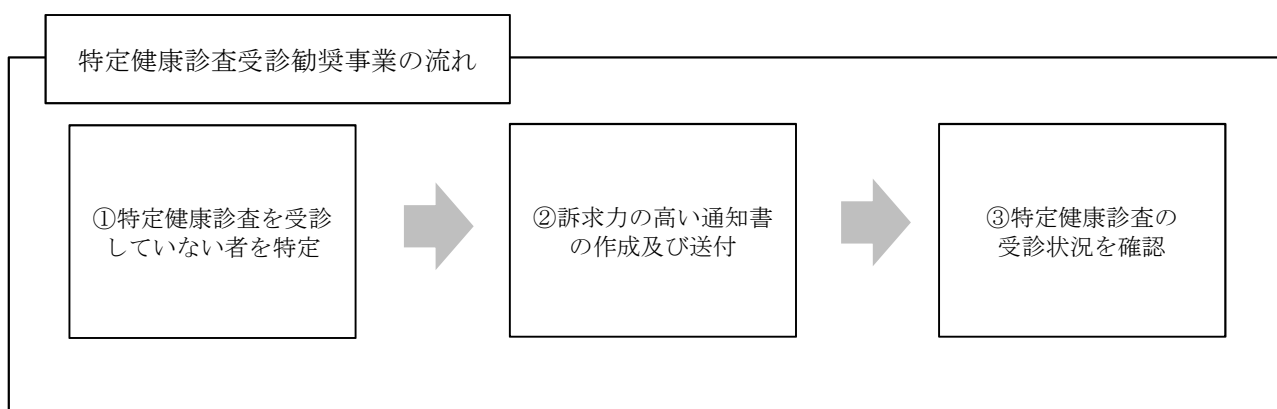
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の特定健康診査受診率 50% 事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
	中長期	特定健康診査受診率 60% 特定健康診査受診率を確認する。

(2) 特定保健指導事業

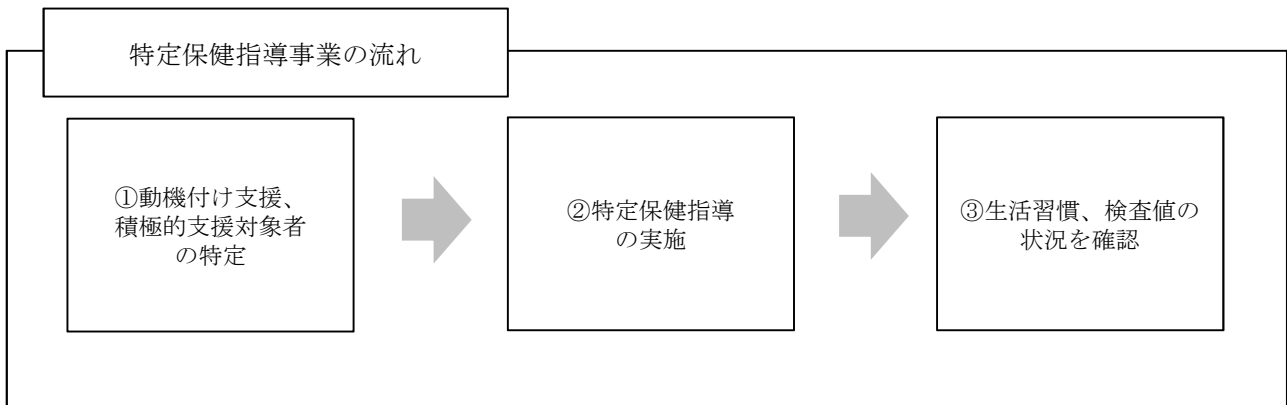
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標	評価方法	
対象者の指導実施率 60% 以上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 65%	指導前後の生活習慣アンケートから生活習慣の改善状況を確認する。
	短期	指導完了者の検査値改善率70%	指導前後の健康診査データから検査値（腹囲、BMI、血圧、中性脂肪、HDL、HbA1c）の推移を確認する。
	中長期	積極的支援及び動機付け支援対象割合 8% 以下	特定保健指導対象者割合の推移を確認する。

(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業

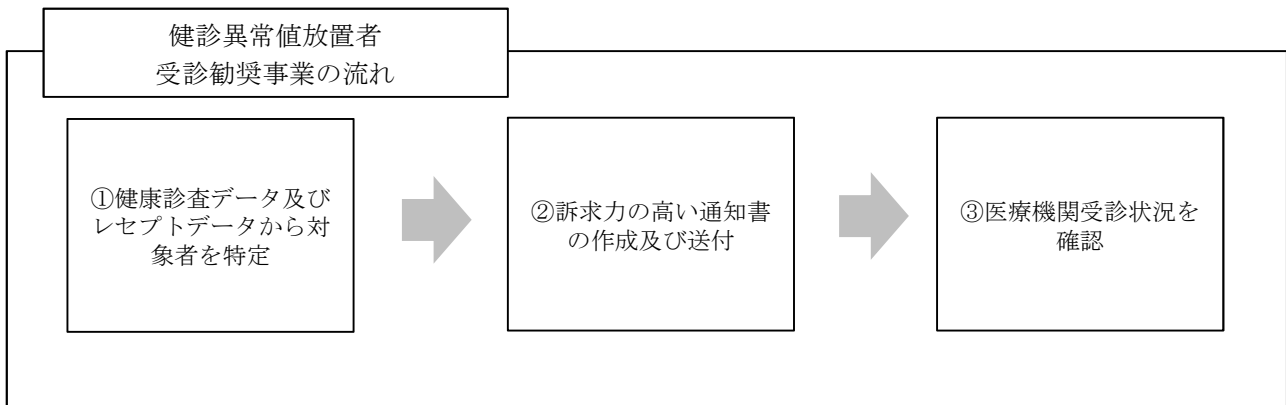
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 20%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	健診異常値放置者 50% 減少	健診異常値放置者数の推移により確認する。

(4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

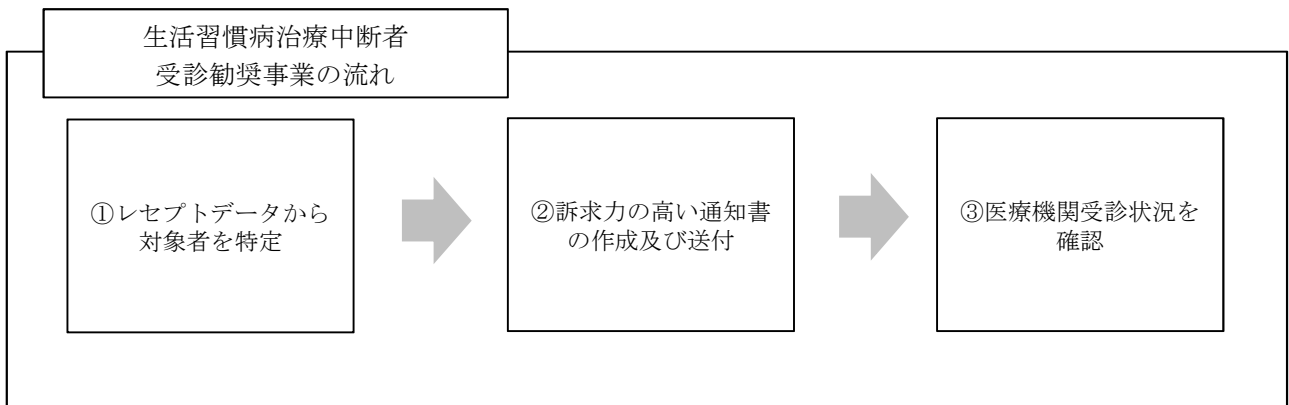
【事業目的】

生活習慣病治療中断者の減少

【実施概要】

かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 対象者の医療機関受診率 20%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期 生活習慣病治療中断者 50% 減少	生活習慣病治療中断者数の推移により確認する。

(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業

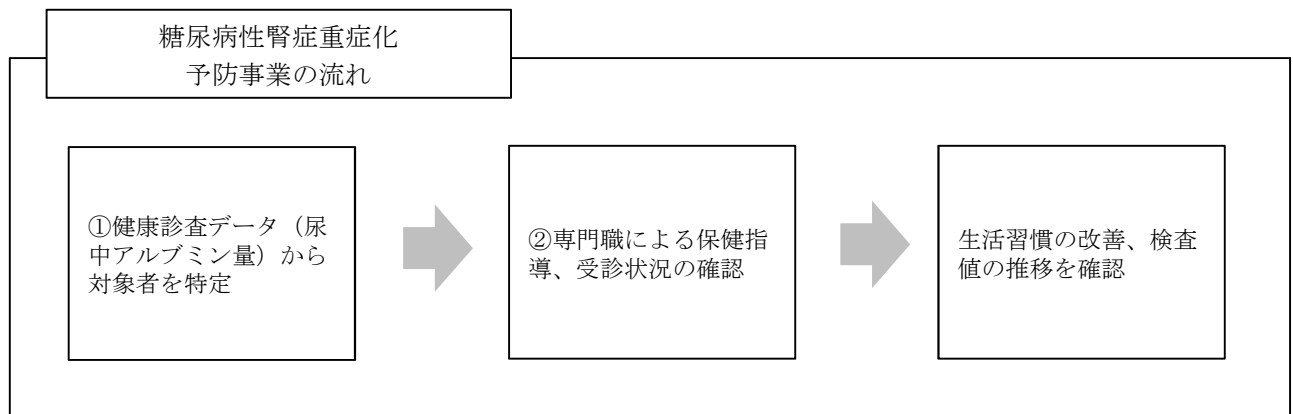
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

糖尿病性腎症重症化の状況を医師会と共有し検討する機会を設定する。微量アルブミン尿の段階で発見される腎障害は可逆的で治療効果が高いことが明らかになっている。糖尿病性腎症の早期発見のため特定健康診査のHbA1c高値者に尿中アルブミンの測定を実施し、対象者を選定。早期受診を促すとともに医療機関と連携して保健指導を実施。

【実施内容】



【目標及び評価方法】

平成35年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者の指導実施率 80% 以上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 65%	指導前後の生活習慣アンケートから生活習慣の改善状況を確認する。
	短期	指導完了者の検査値改善率 70%	指導前後の健康診査データから検査値（腹囲、BMI、血圧、血清クレアチニン、eGFR、HbA1c）の推移を確認する。
	中長期	糖尿病による新規透析患者の減少	レセプトデータより新規透析患者の推移を確認する。

(6) 受診行動適正化指導事業(重複受診、頻回受診、重複服薬)

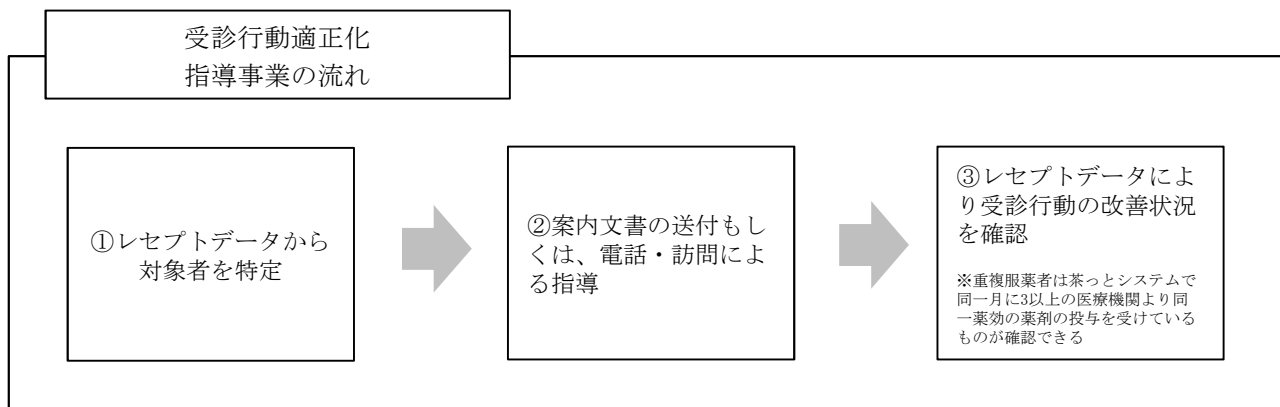
【事業目的】

重複受診者数、頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標値	評価方法
対象者の指導実施率 60% 以上	短期	指導完了者の医療費 20% 減少	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期	重複受診者、頻回受診者、重複服薬者 50% 減少	レセプトデータより確認する。

(7) ジェネリック医薬品差額通知事業

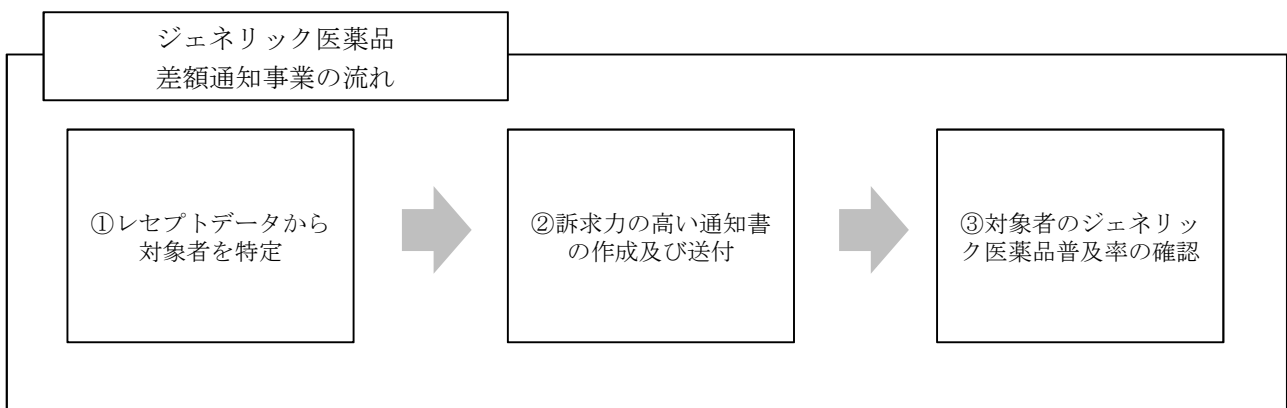
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 3% 向上
	中長期	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 5%
		通知前後のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を確認する。
		ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

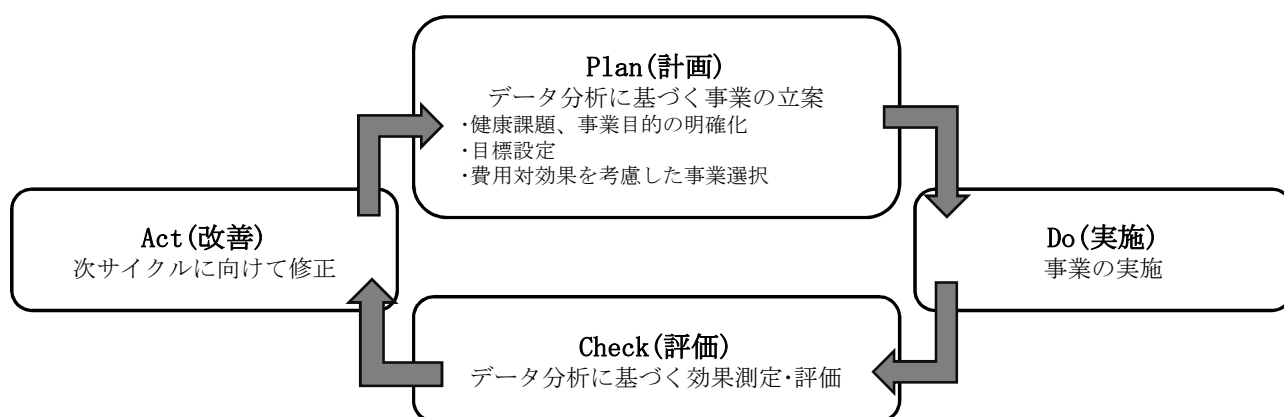
第4章 その他

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

地区分析

1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

池新田	門屋・合戸・塩原新田	上朝比奈・下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【池新田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	26,336,938	4.2%	11	2,412	12	572	9	46,044	12
II. 新生物<腫瘍>	72,650,231	11.6%	3	2,066	13	464	12	156,574	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,103,973	1.4%	15	819	16	163	16	55,853	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	73,958,645	11.8%	2	11,163	2	948	3	78,015	7
V. 精神及び行動の障害	49,308,515	7.8%	6	3,150	10	258	14	191,118	3
VI. 神経系の疾患	30,755,449	4.9%	9	6,058	6	527	10	58,359	9
VII. 眼及び付属器の疾患	30,733,319	4.9%	10	4,291	7	722	6	42,567	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,210,988	0.4%	18	716	17	214	15	10,332	20
IX. 循環器系の疾患	93,028,406	14.8%	1	12,129	1	923	4	100,789	6
X. 呼吸器系の疾患	35,652,827	5.7%	8	6,415	5	1,135	1	31,412	15
X I. 消化器系の疾患 ※	42,335,267	6.7%	7	8,226	3	975	2	43,421	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,052,793	2.1%	13	3,273	9	621	8	21,019	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	54,248,263	8.6%	5	6,642	4	804	5	67,473	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	54,564,722	8.7%	4	3,281	8	501	11	108,912	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	6,222,223	1.0%	16	95	18	27	18	230,453	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	974,072	0.2%	19	6	21	5	21	194,814	2
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	233,420	0.0%	20	54	19	23	19	10,149	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,927,195	1.9%	14	2,891	11	624	7	19,114	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	19,127,198	3.0%	12	1,101	15	329	13	58,137	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,277,026	0.4%	17	1,251	14	155	17	14,690	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	181,800	0.0%	21	28	20	13	20	13,985	19
合計	628,883,270			32,960		2,068		304,102	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【門屋・合戸・塩原新田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,267,414	3.4%	11	837	12	195	10	52,653	11
II. 新生物<腫瘍>	31,085,880	10.4%	3	731	13	161	12	193,080	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6,006,292	2.0%	13	303	17	63	16	95,338	5
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	31,065,039	10.4%	4	4,620	2	353	2	88,003	7
V. 精神及び行動の障害	38,678,123	12.9%	2	1,483	8	98	14	394,675	1
VI. 神経系の疾患	18,846,365	6.3%	7	2,595	5	208	9	90,608	6
VII. 眼及び付属器の疾患	14,847,413	4.9%	9	1,842	7	325	4	45,684	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,066,301	0.7%	16	458	16	91	15	22,707	17
IX. 循環器系の疾患	50,550,039	16.8%	1	5,041	1	340	3	148,677	3
X. 呼吸器系の疾患	14,397,792	4.8%	10	2,466	6	408	1	35,289	13
X I. 消化器系の疾患 ※	17,572,722	5.9%	8	2,713	4	317	5	55,434	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,164,871	2.4%	12	1,202	10	226	8	31,703	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	24,052,058	8.0%	6	2,812	3	298	6	80,712	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	25,197,870	8.4%	5	1,311	9	180	11	139,988	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	326,987	0.1%	19	13	19	6	19	54,498	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	328,380	0.1%	18	43	18	10	18	32,838	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,742,117	0.9%	15	1,041	11	228	7	12,027	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,980,703	1.0%	14	543	14	152	13	19,610	18
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,876,106	0.6%	17	512	15	55	17	34,111	14
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	16,158	0.0%	20	7	20	4	20	4,040	20
合計	300,068,630			13,878		776		386,686	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【上朝比奈・下朝比奈】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	5,988,427	3.4%	11	735	11	150	9	39,923	11
II. 新生物<腫瘍>	7,054,837	4.0%	9	535	13	135	10	52,258	7
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	766,542	0.4%	16	204	17	46	16	16,664	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	30,037,793	16.8%	1	3,358	2	267	2	112,501	3
V. 精神及び行動の障害	15,378,796	8.6%	5	808	10	68	14	226,159	1
VI. 神経系の疾患	6,396,377	3.6%	10	1,369	6	125	12	51,171	8
VII. 眼及び付属器の疾患	9,772,156	5.5%	7	1,083	7	209	6	46,757	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,000,253	0.6%	15	302	16	56	15	17,862	15
IX. 循環器系の疾患	28,303,519	15.9%	2	3,686	1	264	3	107,210	4
X. 呼吸器系の疾患	7,478,930	4.2%	8	1,814	5	294	1	25,439	13
X I. 消化器系の疾患 ※	12,180,251	6.8%	6	2,206	3	258	4	47,210	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,846,528	2.2%	13	891	9	176	7	21,855	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,820,604	10.0%	4	2,059	4	239	5	74,563	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	25,483,865	14.3%	3	970	8	135	10	188,769	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	66,047	0.0%	18	15	18	1	19	66,047	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	56,839	0.0%	19	11	19	6	18	9,473	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,403,550	1.3%	14	716	12	173	8	13,893	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,959,413	2.2%	12	357	14	117	13	33,841	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	340,107	0.2%	17	319	15	38	17	8,950	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,216	0.0%	20	1	20	1	19	2,216	20
合計	178,337,050			9,552		568		313,974	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【佐倉・宮内】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,754,988	2.9%	12	1,185	12	282	8	38,138	11
II. 新生物<腫瘍>	60,660,429	16.1%	2	872	13	220	11	275,729	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,340,424	1.2%	14	298	17	69	17	62,905	8
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	34,287,045	9.1%	4	5,550	2	437	4	78,460	6
V. 精神及び行動の障害	26,662,732	7.1%	6	1,275	10	107	14	249,184	2
VI. 神経系の疾患	10,875,221	2.9%	11	2,486	6	242	10	44,939	10
VII. 眼及び付属器の疾患	18,137,763	4.8%	7	2,180	7	366	6	49,557	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,430,110	0.6%	16	463	16	105	15	23,144	14
IX. 循環器系の疾患	76,744,274	20.4%	1	6,010	1	439	3	174,816	3
X. 呼吸器系の疾患	15,908,455	4.2%	9	3,434	5	542	1	29,351	13
X I. 消化器系の疾患 ※	17,519,810	4.7%	8	3,794	3	461	2	38,004	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,565,869	1.7%	13	1,579	8	310	7	21,180	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	38,522,762	10.2%	3	3,734	4	404	5	95,353	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	31,754,079	8.4%	5	1,440	9	218	12	145,661	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	279,771	0.1%	18	55	19	15	19	18,651	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	207,761	0.1%	19	103	18	19	18	10,935	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,127,053	1.1%	15	1,234	11	278	9	14,846	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	14,560,871	3.9%	10	754	14	203	13	71,728	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,615,170	0.4%	17	533	15	76	16	21,252	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	33,183	0.0%	20	39	20	9	20	3,687	20
合計	375,987,770			16,243		1,014		370,797	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【新野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	5,776,348	4.0%	12	510	12	111	10	52,039	11
II. 新生物<腫瘍>	15,095,628	10.3%	4	415	13	97	12	155,625	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,053,088	2.1%	13	121	17	32	17	95,409	5
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	13,899,891	9.5%	5	2,625	2	192	3	72,395	7
V. 精神及び行動の障害	16,064,172	11.0%	3	580	9	50	14	321,283	1
VI. 神経系の疾患	7,297,456	5.0%	9	1,183	7	107	11	68,201	9
VII. 眼及び付属器の疾患	9,540,049	6.5%	7	1,199	6	169	5	56,450	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	476,155	0.3%	16	153	16	37	15	12,869	18
IX. 循環器系の疾患	20,298,286	13.9%	1	2,900	1	201	2	100,986	4
X. 呼吸器系の疾患	6,003,692	4.1%	11	1,259	5	236	1	25,439	15
X I. 消化器系の疾患 ※	8,104,301	5.5%	8	1,842	3	177	4	45,787	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,531,374	1.7%	14	545	10	112	9	22,602	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	11,557,948	7.9%	6	1,549	4	161	6	71,788	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	17,895,992	12.2%	2	788	8	116	7	154,276	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	223,310	0.2%	17	17	19	5	19	44,662	13
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	121,512	0.1%	19	23	18	6	18	20,252	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,240,854	0.8%	15	514	11	115	8	10,790	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,688,817	4.6%	10	307	14	87	13	76,883	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	186,628	0.1%	18	292	15	36	16	5,184	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	36,499	0.0%	20	9	20	1	20	36,499	14
合計	146,092,000			7,709		411		355,455	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【比木】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,207,310	1.4%	12	451	12	104	10	21,224	12
II. 新生物<腫瘍>	29,575,154	18.8%	1	368	13	108	9	273,844	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	262,666	0.2%	17	116	16	25	17	10,507	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,221,252	10.9%	3	2,457	2	189	4	91,118	7
V. 精神及び行動の障害	16,334,897	10.4%	4	708	8	53	14	308,206	1
VI. 神経系の疾患	5,524,813	3.5%	10	1,146	5	104	10	53,123	9
VII. 眼及び付属器の疾患	8,842,097	5.6%	7	934	7	155	6	57,046	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	394,055	0.2%	15	105	17	41	15	9,611	18
IX. 循環器系の疾患	28,190,953	17.9%	2	2,825	1	202	2	139,559	3
X. 呼吸器系の疾患	4,735,131	3.0%	11	1,122	6	206	1	22,986	11
X I. 消化器系の疾患 ※	6,488,272	4.1%	9	1,735	3	198	3	32,769	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,870,162	1.2%	13	492	10	117	7	15,984	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	16,224,844	10.3%	5	1,489	4	167	5	97,155	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	8,260,749	5.2%	8	573	9	83	12	99,527	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	23,990	0.0%	18	5	20	2	20	11,995	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,876	0.0%	21	1	21	1	21	3,876	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	23,544	0.0%	19	6	19	3	19	7,848	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,358,154	0.9%	14	490	11	113	8	12,019	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	9,824,610	6.2%	6	242	14	82	13	119,812	4
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	285,681	0.2%	16	204	15	27	16	10,581	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	21,190	0.0%	20	31	18	7	18	3,027	21
合計	157,673,400			6,909		389		405,330	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【御前崎・港】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	15,369,279	3.3%	11	1,448	12	357	8	43,051	9
II. 新生物<腫瘍>	80,774,586	17.5%	2	1,458	11	343	9	235,494	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,133,168	0.5%	15	412	17	84	16	25,395	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	58,756,440	12.7%	3	9,318	2	685	2	85,776	6
V. 精神及び行動の障害	24,962,626	5.4%	7	1,560	10	134	15	186,288	2
VI. 神経系の疾患	18,316,635	4.0%	9	3,070	6	279	11	65,651	8
VII. 眼及び付属器の疾患	16,804,162	3.6%	10	2,225	7	432	6	38,899	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,686,763	0.4%	17	612	15	139	14	12,135	18
IX. 循環器系の疾患	85,190,237	18.4%	1	9,441	1	623	3	136,742	4
X. 呼吸器系の疾患	26,508,173	5.7%	6	4,365	5	711	1	37,283	12
X I. 消化器系の疾患 ※	23,852,484	5.2%	8	5,214	4	561	5	42,518	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,336,111	1.8%	12	2,206	8	401	7	20,788	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	48,790,132	10.6%	4	5,285	3	574	4	85,000	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	37,135,210	8.0%	5	1,807	9	268	12	138,564	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	634,750	0.1%	18	10	20	5	20	126,950	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	196,911	0.0%	19	92	18	22	18	8,951	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,275,504	0.9%	14	1,434	13	287	10	14,897	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,407,853	1.4%	13	704	14	218	13	29,394	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,747,146	0.4%	16	525	16	83	17	21,050	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	102,180	0.0%	20	81	19	19	19	5,378	20
合計	461,980,350			21,842		1,257		367,526	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【白羽】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,686,095	1.5%	13	1,390	13	326	10	20,509	16
II. 新生物<腫瘍>	70,304,226	15.4%	2	1,442	12	327	9	214,998	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,693,325	1.0%	15	418	17	86	17	54,574	8
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	47,038,140	10.3%	3	8,477	2	649	3	72,478	7
V. 精神及び行動の障害	35,982,402	7.9%	5	1,934	10	144	14	249,878	2
VI. 神経系の疾患	17,884,844	3.9%	10	3,913	6	341	8	52,448	10
VII. 眼及び付属器の疾患	23,449,019	5.1%	9	2,373	7	433	6	54,155	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,284,207	0.3%	18	469	16	132	15	9,729	18
IX. 循環器系の疾患	82,644,121	18.1%	1	9,020	1	651	2	126,949	4
X. 呼吸器系の疾患	30,890,951	6.8%	6	4,105	5	693	1	44,576	13
X I. 消化器系の疾患 ※	28,359,582	6.2%	8	5,380	4	612	4	46,339	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,440,235	1.4%	14	2,001	9	383	7	16,815	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	45,140,184	9.9%	4	5,477	3	599	5	75,359	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	28,928,835	6.3%	7	2,042	8	272	12	106,356	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,804,731	0.4%	17	28	20	7	20	257,819	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	5,382	0.0%	21	2	21	1	21	5,382	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	144,949	0.0%	20	50	19	18	19	8,053	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,985,238	1.7%	12	1,713	11	313	11	25,512	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	12,563,565	2.8%	11	760	14	242	13	51,916	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,253,089	0.9%	16	692	15	98	16	43,399	14
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	187,250	0.0%	19	91	18	21	18	8,917	19
合計	456,670,370			22,116		1,308		349,136	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	937,519	1.7%	12	160	11	55	5	17,046	16
II. 新生物<腫瘍>	4,616,589	8.6%	4	85	15	35	11	131,903	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	417,806	0.8%	16	103	12	15	16	27,854	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,423,907	6.4%	7	529	4	61	3	56,130	7
V. 精神及び行動の障害	4,614,475	8.6%	5	393	6	30	13	153,816	3
VI. 神経系の疾患	6,278,550	11.7%	3	569	1	54	6	116,269	5
VII. 眼及び付属器の疾患	816,918	1.5%	13	189	9	48	7	17,019	17
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	486,726	0.9%	15	52	16	20	15	24,336	12
IX. 循環器系の疾患	11,908,536	22.1%	1	442	5	44	9	270,649	1
X. 呼吸器系の疾患	3,454,773	6.4%	6	532	3	105	1	32,903	10
X I. 消化器系の疾患 ※	3,112,259	5.8%	8	550	2	66	2	47,155	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,304,778	2.4%	11	351	7	56	4	23,300	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,594,153	3.0%	10	230	8	47	8	33,918	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	7,028,631	13.1%	2	171	10	41	10	171,430	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	131,580	0.2%	17	17	18	7	17	18,797	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	7,363	0.0%	19	8	19	2	19	3,682	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,037,097	5.6%	9	88	14	35	11	86,774	6
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	540,831	1.0%	14	102	13	29	14	18,649	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	67,763	0.1%	18	30	17	6	18	11,294	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	3,356	0.0%	20	1	20	1	20	3,356	20
合計	53,783,610			2,075		188		286,083	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

池新田	門屋・合戸・塩原新田	上朝比奈・下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【池新田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	43,983,770	7.0%	638
2	1402	腎不全	37,505,627	6.0%	58
3	0901	高血圧性疾患	33,352,107	5.3%	663
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	26,038,725	4.1%	72
5	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	24,817,793	3.9%	187
6	1113	その他の消化器系の疾患	24,038,099	3.8%	584
7	0403	脂質異常症	20,928,129	3.3%	542
8	0606	その他の神経系の疾患	18,966,486	3.0%	491
9	1301	炎症性多発性関節障害	17,574,669	2.8%	125
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	17,004,591	2.7%	503

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【門屋・合戸・塩原新田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	24,945,763	8.3%	41
2	1402	腎不全	18,477,281	6.2%	19
3	0402	糖尿病	16,233,642	5.4%	206
4	0901	高血圧性疾患	15,509,834	5.2%	257
5	0902	虚血性心疾患	13,578,788	4.5%	64
6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	13,051,590	4.3%	72
7	0606	その他の神経系の疾患	11,923,367	4.0%	194
8	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	11,441,142	3.8%	48
9	0403	脂質異常症	9,574,793	3.2%	200
10	0903	その他の心疾患	9,249,253	3.1%	162

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【上朝比奈・下朝比奈】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	21,384,669	12.0%	19
2	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	11,907,446	6.7%	89
3	0402 糖尿病	11,043,358	6.2%	169
4	0901 高血圧性疾患	10,348,236	5.8%	189
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	7,188,895	4.0%	19
6	0904 くも膜下出血	6,268,183	3.5%	1
7	0403 脂質異常症	6,237,953	3.5%	155
8	0903 その他の心疾患	6,194,770	3.5%	98
9	0606 その他の神経系の疾患	5,806,870	3.3%	120
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	5,796,112	3.3%	151

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【佐倉・宮内】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	35,326,009	9.4%	31
2	1402 腎不全	26,078,583	6.9%	23
3	0903 その他の心疾患	19,385,031	5.2%	172
4	0402 糖尿病	19,199,025	5.1%	266
5	0901 高血圧性疾患	17,374,256	4.6%	335
6	0902 虚血性心疾患	15,513,110	4.1%	88
7	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	12,252,826	3.3%	49
8	1113 その他の消化器系の疾患	11,873,668	3.2%	273
9	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	11,469,646	3.1%	79
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	10,874,570	2.9%	274

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【新野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	12,975,772	8.9%	7
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	11,530,879	7.9%	17
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	9,182,710	6.3%	39
4	0901 高血圧性疾患	8,412,457	5.8%	142
5	0402 糖尿病	7,841,588	5.4%	137
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	5,821,678	4.0%	133
7	0903 その他の心疾患	5,695,104	3.9%	84
8	0606 その他の神経系の疾患	5,583,951	3.8%	101
9	1901 骨折	5,460,061	3.7%	29
10	0403 脂質異常症	4,473,557	3.1%	107

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【比木】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,366,260	7.8%	7
2	0208 悪性リンパ腫	11,803,379	7.5%	3
3	0402 糖尿病	10,383,454	6.6%	127
4	0901 高血圧性疾患	8,163,632	5.2%	150
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	7,095,333	4.5%	16
6	1402 腎不全	6,606,842	4.2%	12
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,066,092	3.8%	114
8	1302 関節症	5,998,959	3.8%	55
9	1901 骨折	5,099,951	3.2%	24
10	0904 くも膜下出血	4,687,839	3.0%	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

池新田	門屋・合戸・塩原新田	上朝比奈・下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【御前崎・港】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	33,331,072	7.2%	402
2	1402	腎不全	28,847,662	6.2%	27
3	0901	高血圧性疾患	27,904,335	6.0%	493
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	26,970,995	5.8%	176
5	0903	その他の心疾患	19,158,558	4.1%	247
6	0403	脂質異常症	18,962,970	4.1%	432
7	1113	その他の消化器系の疾患	15,070,959	3.3%	364
8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	14,817,734	3.2%	37
9	1301	炎症性多発性関節障害	13,876,897	3.0%	108
10	0902	虚血性心疾患	13,107,577	2.8%	128

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【白羽】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0903	その他の心疾患	29,289,192	6.4%	217
2	0901	高血圧性疾患	25,942,767	5.7%	500
3	0402	糖尿病	25,206,742	5.5%	381
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	24,966,968	5.5%	46
5	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	23,778,944	5.2%	163
6	1402	腎不全	18,554,890	4.1%	22
7	0403	脂質異常症	16,462,999	3.6%	395
8	1113	その他の消化器系の疾患	15,799,651	3.5%	388
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	13,227,916	2.9%	315
10	0606	その他の神経系の疾患	11,590,506	2.5%	310

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	4,635,024	8.6%	5
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,037,097	5.6%	35
3	0906 脳梗塞	2,907,256	5.4%	9
4	0903 その他の心疾患	2,845,175	5.3%	13
5	0905 脳内出血	2,523,696	4.7%	2
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,465,119	4.6%	12
7	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	2,310,267	4.3%	4
8	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2,290,928	4.3%	3
9	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	1,981,758	3.7%	18
10	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	1,953,981	3.6%	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

池新田	門屋・合戸・塩原新田	上朝比奈・下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【池新田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	33,352,107	663	32.1%
2	0402 糖尿病	43,983,770	638	30.9%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,927,195	624	30.2%
4	1003 その他の急性上気道感染症	4,531,441	597	28.9%
5	1113 その他の消化器系の疾患	24,038,099	584	28.2%
6	1006 アレルギー性鼻炎	6,785,771	558	27.0%
7	0703 屈折及び調節の障害	2,321,390	548	26.5%
8	0403 脂質異常症	20,928,129	542	26.2%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	17,004,591	503	24.3%
10	0606 その他の神経系の疾患	18,966,486	491	23.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【門屋・合戸・塩原新田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0703 屈折及び調節の障害	1,050,433	258	33.2%
2	0901 高血圧性疾患	15,509,834	257	33.1%
3	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,335,199	233	30.0%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,742,117	228	29.4%
5	0402 糖尿病	16,233,642	206	26.5%
6	0403 脂質異常症	9,574,793	200	25.8%
7	0606 その他の神経系の疾患	11,923,367	194	25.0%
8	1003 その他の急性上気道感染症	1,419,919	189	24.4%
9	1113 その他の消化器系の疾患	8,253,707	183	23.6%
10	1006 アレルギー性鼻炎	2,713,766	176	22.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【上朝比奈・下朝比奈】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	10,348,236	189	33.3%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,403,550	173	30.5%
3	0703	屈折及び調節の障害	731,712	172	30.3%
4	0402	糖尿病	11,043,358	169	29.8%
5	0403	脂質異常症	6,237,953	155	27.3%
6	1003	その他の急性上気道感染症	1,148,595	152	26.8%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	5,796,112	151	26.6%
8	1006	アレルギー性鼻炎	1,760,958	146	25.7%
9	1113	その他の消化器系の疾患	5,181,396	145	25.5%
10	0606	その他の神経系の疾患	5,806,870	120	21.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【佐倉・宮内】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	17,374,256	335	33.0%
2	1003	その他の急性上気道感染症	2,299,101	303	29.9%
3	0703	屈折及び調節の障害	1,448,434	280	27.6%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,127,053	278	27.4%
5	1006	アレルギー性鼻炎	2,991,225	276	27.2%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	10,874,570	274	27.0%
7	1113	その他の消化器系の疾患	11,873,668	273	26.9%
8	0402	糖尿病	19,199,025	266	26.2%
9	0403	脂質異常症	10,445,365	253	25.0%
10	0606	その他の神経系の疾患	7,464,117	227	22.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【新野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	8,412,457	142	34.5%
2	0703	屈折及び調節の障害	649,352	141	34.3%
3	0402	糖尿病	7,841,588	137	33.3%
4	0704	その他の眼及び付属器の疾患	5,821,678	133	32.4%
5	1003	その他の急性上気道感染症	989,672	122	29.7%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,240,854	115	28.0%
7	1113	その他の消化器系の疾患	3,293,613	114	27.7%
8	0403	脂質異常症	4,473,557	107	26.0%
9	0606	その他の神経系の疾患	5,583,951	101	24.6%
10	1006	アレルギー性鼻炎	1,081,747	98	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【比木】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	8,163,632	150	38.6%
2	0402	糖尿病	10,383,454	127	32.6%
3	0703	屈折及び調節の障害	539,301	124	31.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	3,675,550	123	31.6%
5	0704	その他の眼及び付属器の疾患	6,066,092	114	29.3%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,358,154	113	29.0%
7	1003	その他の急性上気道感染症	663,764	104	26.7%
8	0606	その他の神経系の疾患	4,579,487	99	25.4%
9	0403	脂質異常症	3,643,560	97	24.9%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,095,072	96	24.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

池新田	門屋・合戸・塩原新田	上朝比奈・下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【御前崎・港】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	27,904,335	493	39.2%
2	1003	その他の急性上気道感染症	3,182,270	455	36.2%
3	0403	脂質異常症	18,962,970	432	34.4%
4	0402	糖尿病	33,331,072	402	32.0%
5	1113	その他の消化器系の疾患	15,070,959	364	29.0%
6	0703	屈折及び調節の障害	1,369,358	340	27.0%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	10,792,761	316	25.1%
8	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,275,504	287	22.8%
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	8,476,940	258	20.5%
10	0606	その他の神経系の疾患	11,925,102	256	20.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【白羽】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	25,942,767	500	38.2%
2	1003	その他の急性上気道感染症	2,983,470	449	34.3%
3	0403	脂質異常症	16,462,999	395	30.2%
4	1113	その他の消化器系の疾患	15,799,651	388	29.7%
5	0402	糖尿病	25,206,742	381	29.1%
6	0703	屈折及び調節の障害	1,370,084	331	25.3%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	13,227,916	315	24.1%
8	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,985,238	313	23.9%
9	0606	その他の神経系の疾患	11,590,506	310	23.7%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,135,790	290	22.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

池新田	門屋・合戸・ 塩原新田	上朝比奈・ 下朝比奈	佐倉・宮内	新野
比木	御前崎・港	白羽	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1003	その他の急性上気道感染症	415,570	63	33.5%
2	1006	アレルギー性鼻炎	547,630	46	24.5%
3	1202	皮膚炎及び湿疹	754,596	44	23.4%
4	0606	その他の神経系の疾患	1,792,262	43	22.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	1,231,167	43	22.9%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,037,097	35	18.6%
7	0402	糖尿病	1,606,314	33	17.6%
7	1011	その他の呼吸器系の疾患	200,853	33	17.6%
9	0901	高血圧性疾患	1,317,198	32	17.0%
10	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	461,479	31	16.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

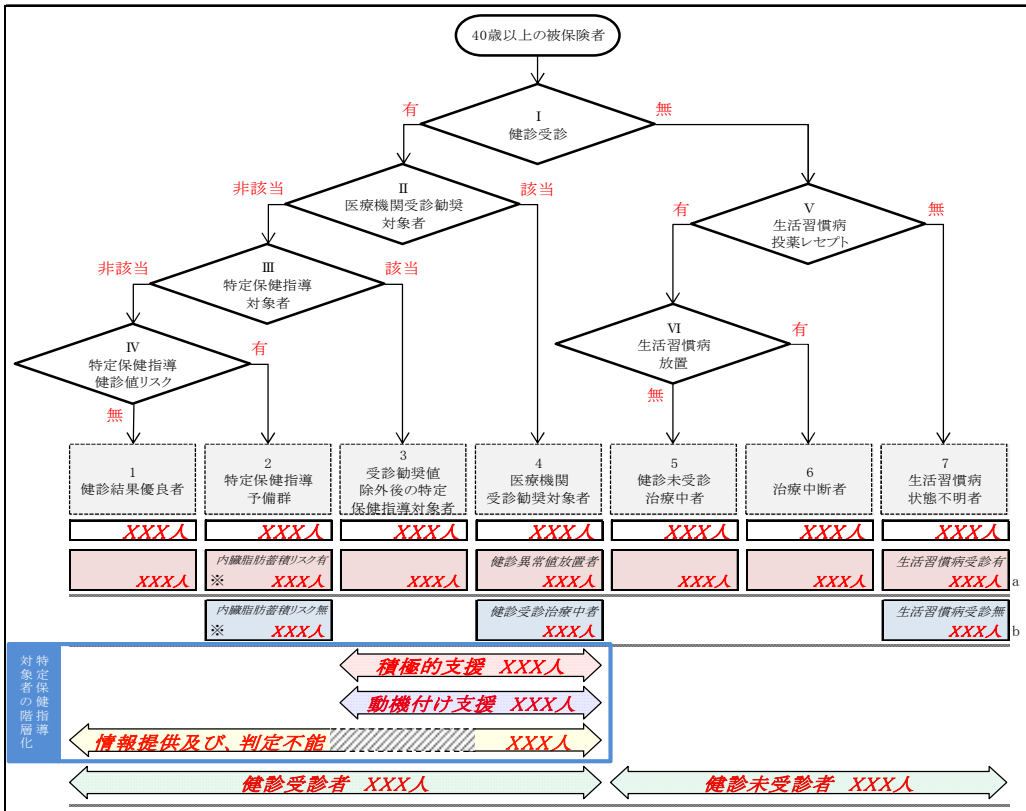
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

巻末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 健診異常値放置者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	咽喉炎	急性咽喉炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ベースメカ植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		